

# 救急 統計

The Statistics of  
The Emergency Medical Care

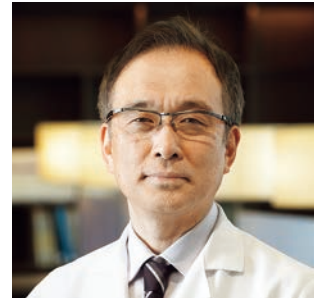
2023





## コロナを越えて、変化に備える

本統計の対象期間である2023年5月、新型コロナウイルス感染症はインフルエンザと同等の5類感染症に移行しました。定点観測によれば、その後も患者発生のはあるものの、法的な行動制限が解除され、メディアの報道も間遠になった今、人々は失われた時間を取り戻すべく動き出しています。これからの感染症パンデミック対策には、自然科学としてのウイルス学のみならず、人々の心理や暮らしにも配慮した社会科学的な視座が必要かも知れません。



院長  
中尾 浩一

さて、本統計にはコロナの影響から脱却し、救命救急センターである当院が本来フォーカスすべき患者層、すなわち緊急度と重症度が共に高い患者の治療に徐々に復帰する過程が示されています。しかしながら、人々の受療行動の変容、働き方改革の実装、さらに熊本市の救急医療体制の変化の中で、コロナ前（2019年度）の診療状況に完全に戻ったとは言えません。私たちは様々な環境の変化を見据えて、自身の形を変えて行かなくてはならないでしょう。

救急患者数は15,922名と前年度比-15.2%となりましたが、主に発熱患者などウォークインの減少(-30.2%)によるものでした。救急車等での搬送件数は7,682件と増加し(+10.0%)、2020年度と同等のレベルとなりました。救外受診者の入院率は43.3%と回復し(前年度32.4%)、24時間以内の緊急手術実施率も全体の4.4%(前年度3.7%)となっています。救急ホットラインでは、ヘリ搬送の応需は維持(ドクター・ヘリ95.2%、防災ヘリ100%)し、昨年大きく低下(90.2%)した救急車搬送の応需率は、98.7%まで回復しました。二次医療圏別に見ると、熊本市、上益城、宇城医療圏からの患者搬送が87.4%を占めていますが、天草地域からの搬送数が増加しています。最前線で患者に接し、その搬送を担って奮闘された救急隊の方々のご尽力に敬意を表したいと思います。

今年度から直近6ヶ年の方針である「第8次医療計画」の中で「救急・災害医療提供体制」の検討が行われるとともに、新たな地域医療構想「2040年の医療提供体制ビジョン」として将来像の構築が始まっています。これから策定される計画・構想がどのような影響を及ぼすか不透明ですが、当地の人々の命と暮らしを守る救命救急センターとして、行政・消防・医師会の皆様との連携をさらに強固なものとして、良質かつ適正な医療の提供に今後とも努めて参りたいと思います。

2024年7月

社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院  
院長 中尾 浩一

## 救急統計2023の発刊にあたり

2020年以降パンデミック感染症として混乱をまねいておりましたCOVID-19感染症が2023年5月に2類相当から5類感染症への移行が宣言されました。ある意味待ち望んでいた「ウイズ・コロナ」時代の幕開けとなった年でした。新興感染症に対する医療対応システムの脆弱性が露呈し救急対応が混乱した反面、必然的に対応せざるを得なくなりマインドセットの変更を余儀なくされた救急搬送対応があったと考えています。それは、コロナ下でのプレホスピタルの救急搬送患者トリアージがより徹底されるようになったことです。救急の3R、即ちFor the Right patient, In the Right time, To the Right place. 適切な患者を、適切な時間に、適切な場所（医療機関）に搬送するという救急活動の目標に沿ったプレホスピタル活動がウイズ・コロナ下で実施され、1次から3次まで、どんな症例も救命センターへのスクープ・アンド・ラン的マインドセットが市民の方々のマインドセットをも含み是正されている印象があります。今回上梓しました救急統計にも軽症から軽度中等症と中重度中等症から重症患者の搬送割合がより重症化へシフトしており、入院患者比率や緊急手術、重症外傷患者数、救命救急センター病床への入院患者数などの増加からも推測されるところです。ウイズ・コロナ下で救急ホットライン応需率も98.7%とコロナ前の状態に回復しております。この小冊子をご一読いただき、ご意見等いただけますと幸いです。2023年度の当院での救急関連イベントや活動のご報告を添えてご挨拶に代えさせていただきます。



救命救急センター長  
前原 潤一

2023年「JATEC熊本コース」を受講生32名、多くを熊本県内在住医師に対してWEBでの座学7月8日（土）、対面でのOJTを15日（土）、16日（日）当院で開催しました。

続いて2023年11月18日（土）にはコロナ下で4年間延期されていましたが「4R メディカルラリー」を約6ヶ月の準備期間のあと4年ぶりに開催することができました。当院敷地内を広範囲に利用して医師、看護師、救命士6名からなるチーム構成で北は北海道から南は鹿児島まで8チーム（48名）がエントリーされ、ラリーを支えるスタッフは院内外を含め総勢240名。マスコミからの取材を受けつつ、多くの参加者を集めての大打ち上げ会で幕を閉じることができました。

2024年年明け早々に発生した「能登半島地震」には当院DMATも熊本県の調整のもと2隊を被災地の石川県穴水町と石川県庁災害対策本部に派遣し活動しました。初めて購入していた2台のDMATカーを使用してフェリーを間に挟みながらの陸路移動を行い、現地でも患者搬送等に利用しながら有意義な活動を行うことが出来たと思っております。また、DMAT隊派遣に前後して、救急看護師や薬剤師も各方面からの要請を受け、災害支援活動に参加しております。

## 救急統計2023の発刊にあたり

院長 中尾 浩一

救命救急センター長 前原 潤一

### 救急統計

# 救急統計

The Statistics of The Emergency Medical Care

2023

C o n t e n t s

1.2019年度～2023年度救急統計概要《5年推移》	2
2.来院手段	
2-1.5年推移(2019年度～2023年度)	3
2-2.月別	3
2-3.曜日別	4
2-4.時間帯別	5
3.転帰内容《5年推移》	6
4.年齢構成	7
5.CPA数	
受入件数	8
6.救急ホットライン応需数	9
7.救命救急センター42床への入院患者数	
7-1.診療科別患者数	9
7-2.疾患別患者数(TOP20)	10
7-3.転帰別患者数	11
7-4.外傷データベース(AIS・ISS別患者数)	11
8.紹介患者数	
8-1.紹介患者の転帰	12
8-2.二次保健医療圏別紹介患者数	12
9.医師(現場)出動件数	13
10.救急隊搬送件数	14
11.二次保健医療圏	
11-1.患者数	16
11-2.来院手段別	18

### 記事

令和6年能登半島地震での支援活動	30
JATEC熊本コース開催(Japan Advanced Trauma Evaluation and Care)	31
4Rメディカルラリー2023開催	32
済生会熊本病院DMAT隊 能登半島地震の災害地へ派遣	33



# 1 2019年度～2023年度救急統計概要《5年推移》

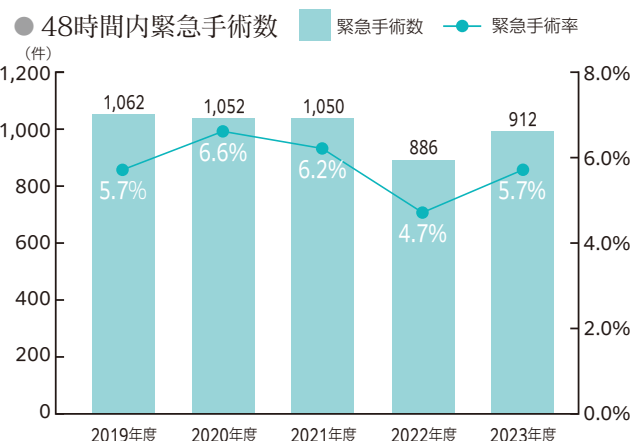
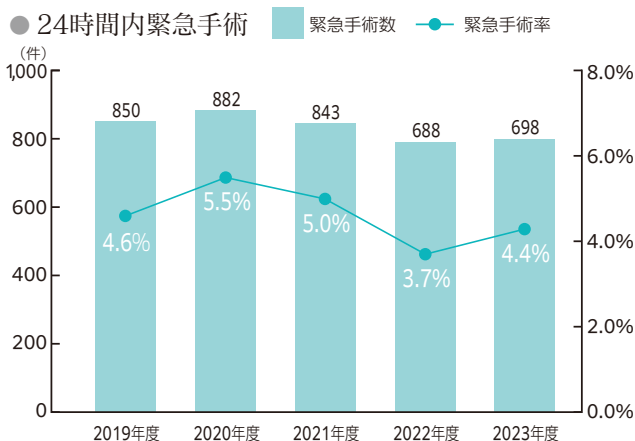
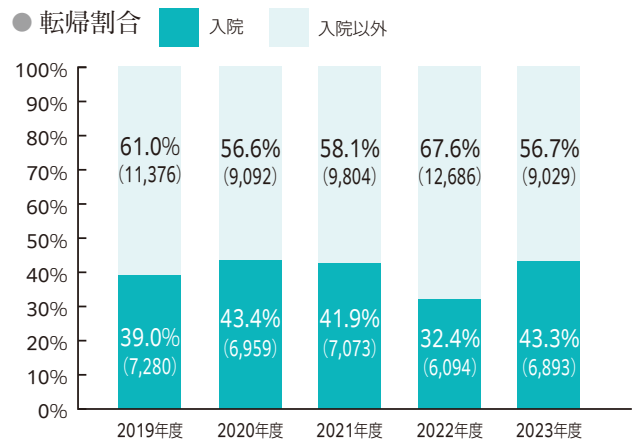
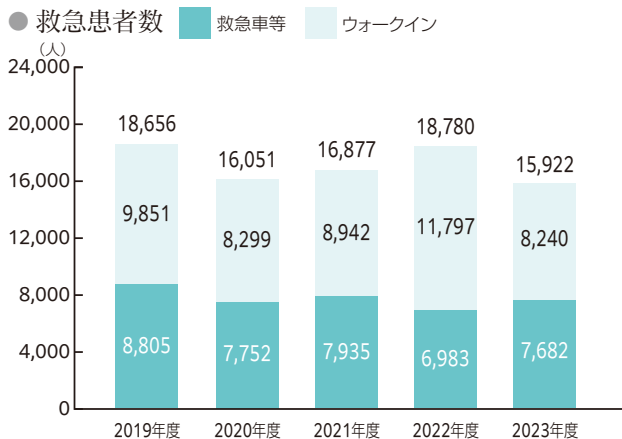
年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
救急患者数		18,656		16,051		16,877		18,780		15,922	
ウォークイン※1		9,851	52.8%	8,299	51.7%	8,942	53.0%	11,797	62.8%	8,240	51.8%
救急車等※2		8,805	47.2%	7,752	48.3%	7,935	47.0%	6,983	37.2%	7,682	48.2%
性別	男性	10,182	54.6%	8,947	55.7%	9,057	53.7%	9,719	51.8%	8,580	53.9%
	女性	8,474	45.4%	7,104	44.3%	7,820	46.3%	9,061	48.2%	7,342	46.1%
平均年齢	入院	74.5		74.7		75.3		75.4		75.5	
	入院以外※3	60.6		61.2		58.1		48.4		60.3	
	全体	66.0		67.0		65.3		57.1		66.9	
転帰	入院	7,280	39.0%	6,959	43.4%	7,073	41.9%	6,094	32.4%	6,893	43.3%
	入院以外※3	11,376	61.0%	9,092	56.6%	9,804	58.1%	12,686	67.6%	9,029	56.7%
緊急手術※4	24時間内	850	4.6%	882	5.5%	843	5.0%	688	3.7%	698	4.4%
	48時間内	1,062	5.7%	1,052	6.6%	1,050	6.2%	886	4.7%	912	5.7%

※1 ウォークインとは、独歩、自家用車のこと

※2 救急車等とは、救急車、病院車※5、防災ヘリ、Dr.ヘリ、MCCUのこと

※3 入院以外とは、転帰が軽快・転医・死亡のこと

※4 緊急手術患者数とは救急外来受診後、緊急手術を要すると判断された患者数のこと（当院緊急手術区分該当者）



## 2 来院手段

### 2-1 5年推移 (2019年度～2023年度)

(人)

来院手段		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ウォークイン		9,851	8,299	8,942	11,797	8,240
救急車等	救急車	8,048	7,117	7,173	6,349	7,000
	病院車	618	521	639	488	550
	ヘリ	139 (113)	114 (92)	123 (100)	146 (119)	132 (100)
合 計		18,656	16,051	16,877	18,780	15,922

※ヘリ件数は Dr. ヘリと防災ヘリの合算。

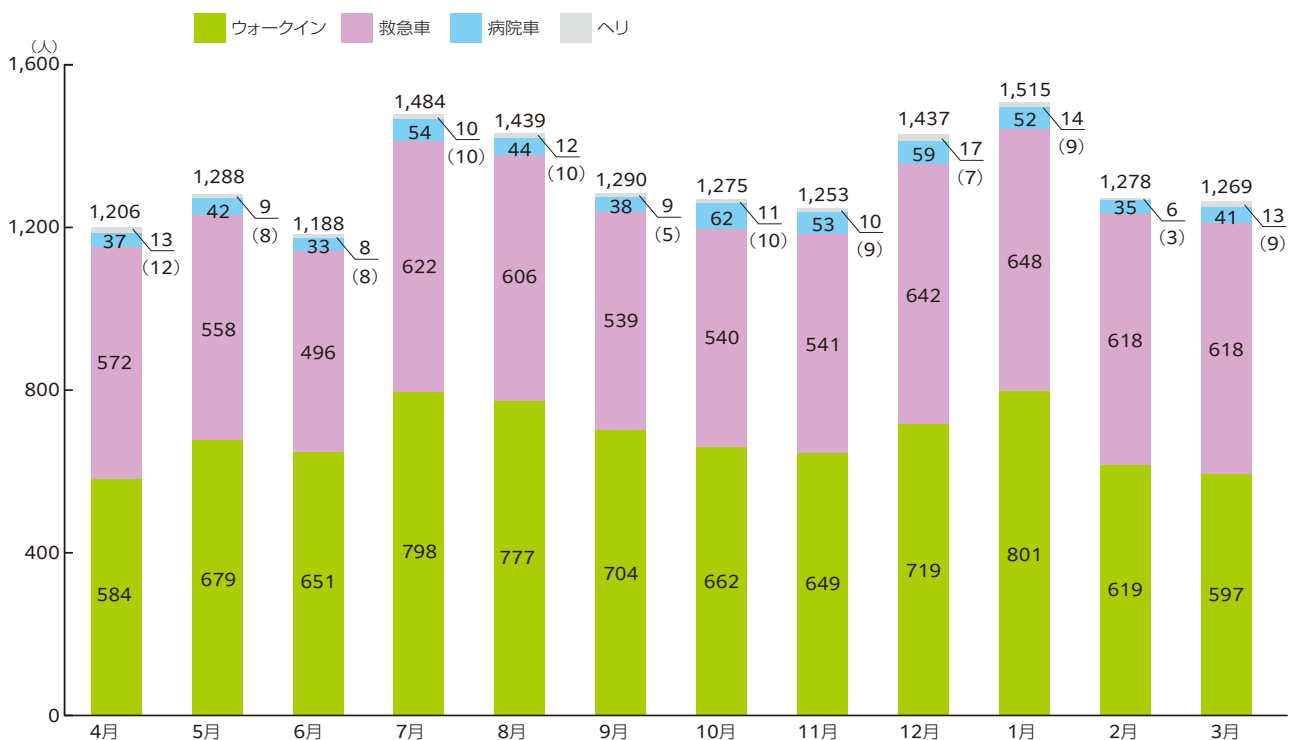
※ヘリ件数の括弧内は Dr. ヘリ件数。

※病院車とは、各医療機関所有の病院救急車・患者搬送車のこと

### 2-2 月別

(人)

来院手段	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ウォークイン	584	679	651	798	777	704	662	649	719	801	619	597	8,240
救急車等	救急車	572	558	496	622	606	539	540	541	642	648	618	7,000
	病院車	37	42	33	54	44	38	62	53	59	52	35	550
	ヘリ	13(12)	9(8)	8(8)	10(10)	12(10)	9(5)	11(10)	10(9)	17(7)	14(9)	6(3)	13(9)
合 計	1,206	1,288	1,188	1,484	1,439	1,290	1,275	1,253	1,437	1,515	1,278	1,269	15,922



## 2 来院手段

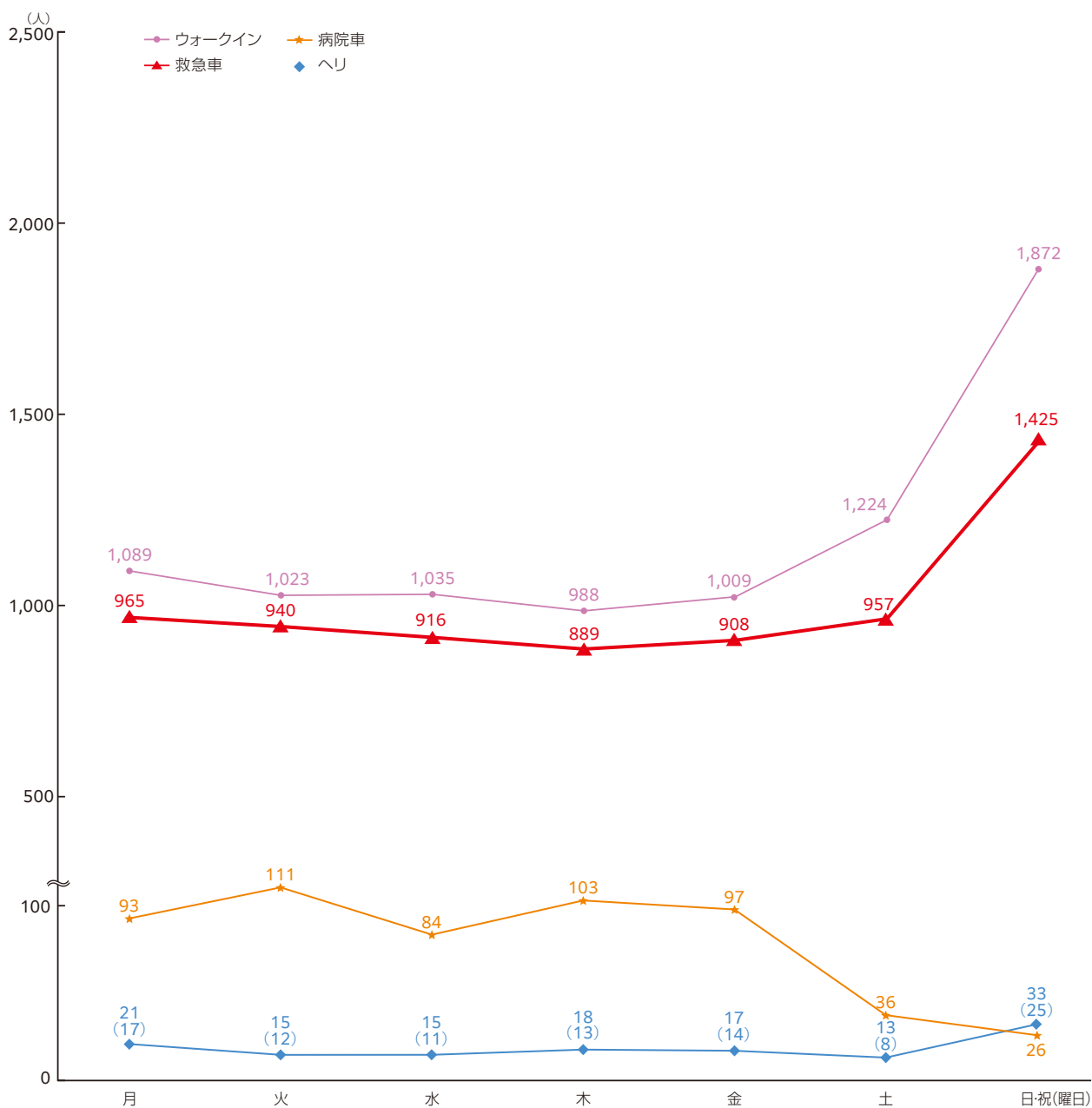
### 2-3 曜日別

(人)

来院手段	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜・祝日	合計
ウォークイン	1,089	1,023	1,035	988	1,009	1,224	1,872	8,240
救急車等	救急車	965	940	916	889	908	1,425	7,000
	病院車	93	111	84	103	97	26	550
	ヘリ	21 (17)	15 (12)	15 (11)	18 (13)	17 (14)	33 (25)	132 (100)
合計	2,168	2,089	2,050	1,998	2,031	2,230	3,356	15,922

※ヘリ件数は Dr. ヘリと防災ヘリの合算。

※ヘリ件数の括弧内は Dr. ヘリ件数。





## 2-4 時間帯別

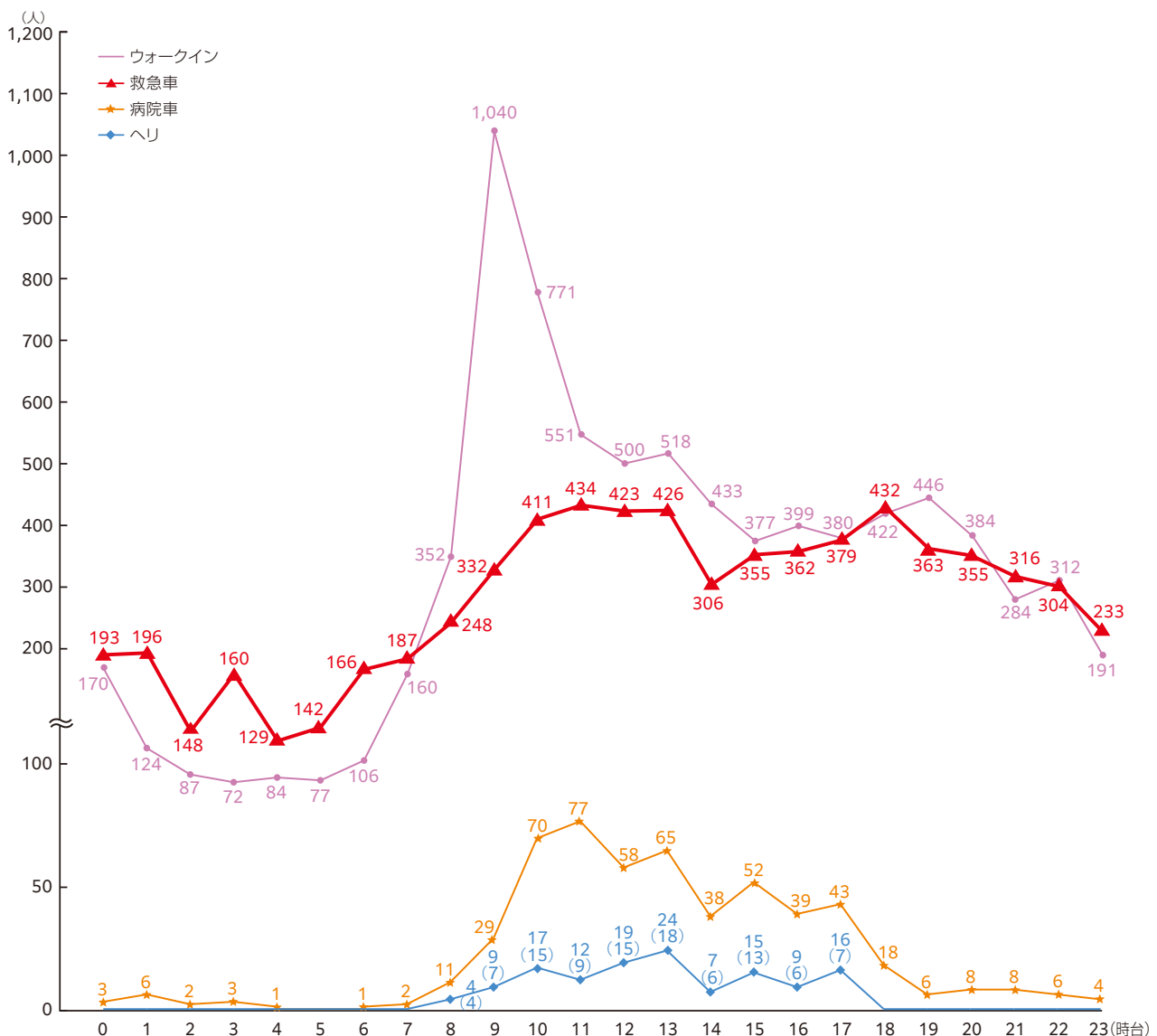
(人)

来院手段	0時台	1時台	2時台	3時台	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	
ウォークイン	170	124	87	72	84	77	106	160	352	1,040	771	551	500	
救急車等	救急車	193	196	148	160	129	142	166	187	248	332	411	434	423
	病院車	3	6	2	3	1	0	1	2	11	29	70	77	58
	ヘリ	0	0	0	0	0	0	0	0	4 (4)	9 (7)	17(15)	12 (9)	19(15)
合計	366	326	237	235	214	219	273	349	615	1,410	1,269	1,074	1,000	

(人)

来院手段	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台	合計	
ウォークイン	518	433	377	399	380	422	446	384	284	312	191	8,240	
救急車等	救急車	426	306	355	362	379	432	363	355	316	304	233	7,000
	病院車	65	38	52	39	43	18	6	8	8	6	4	550
	ヘリ	24(18)	7 (6)	15(13)	9 (6)	16 (7)	0	0	0	0	0	0	132 (100)
合計	1,033	784	799	809	818	872	815	747	608	622	428	15,922	

※ヘリ件数は Dr. ヘリと防災ヘリの合算。  
※ヘリ件数の括弧内は Dr. ヘリ件数。



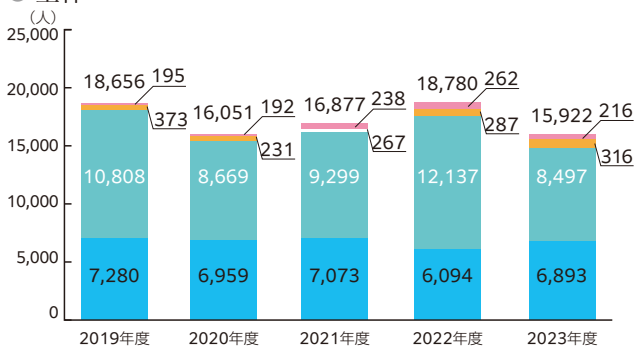
### 3 転帰内容《5年推移》

転 帰	2019年度				2020年度			
	ウォークイン	救急車等	合計	全体割合	ウォークイン	救急車等	合計	全体割合
入院	1,976	5,304	7,280	39.0%	2,088	4,871	6,959	43.4%
帰宅	7,782	3,026	10,808	57.9%	6,163	2,506	8,669	54.0%
転院	91	282	373	2.0%	47	184	231	1.4%
死亡	2	193	195	1.0%	1	191	192	1.2%
合 計	9,851	8,805	18,656	100.0%	8,299	7,752	16,051	100.0%

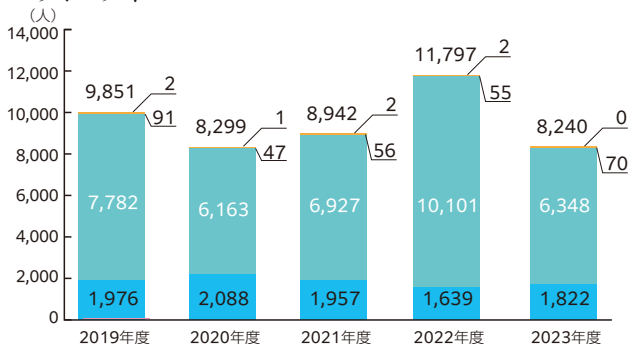
転 帰	2021年度				2022年度			
	ウォークイン	救急車等	合計	全体割合	ウォークイン	救急車等	合計	全体割合
入院	1,957	5,116	7,073	41.9%	1,639	4,455	6,094	32.4%
帰宅	6,927	2,372	9,299	55.1%	10,101	2,036	12,137	64.6%
転院	56	211	267	1.6%	55	232	287	1.5%
死亡	2	236	238	1.4%	2	260	262	1.4%
合 計	8,942	7,935	16,877	100.0%	11,797	6,983	18,780	100.0%

転 帰	2023年度			
	ウォークイン	救急車等	合計	全体割合
入院	1,822	5,071	6,893	43.3%
帰宅	6,348	2,149	8,497	53.4%
転院	70	246	316	2.0%
死亡	0	216	216	1.4%
合 計	8,240	7,682	15,922	100.0%

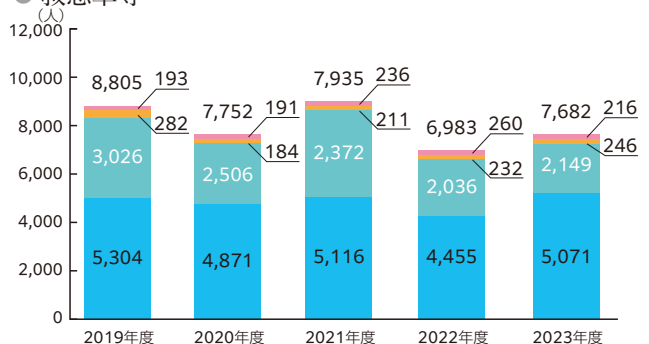
● 全体



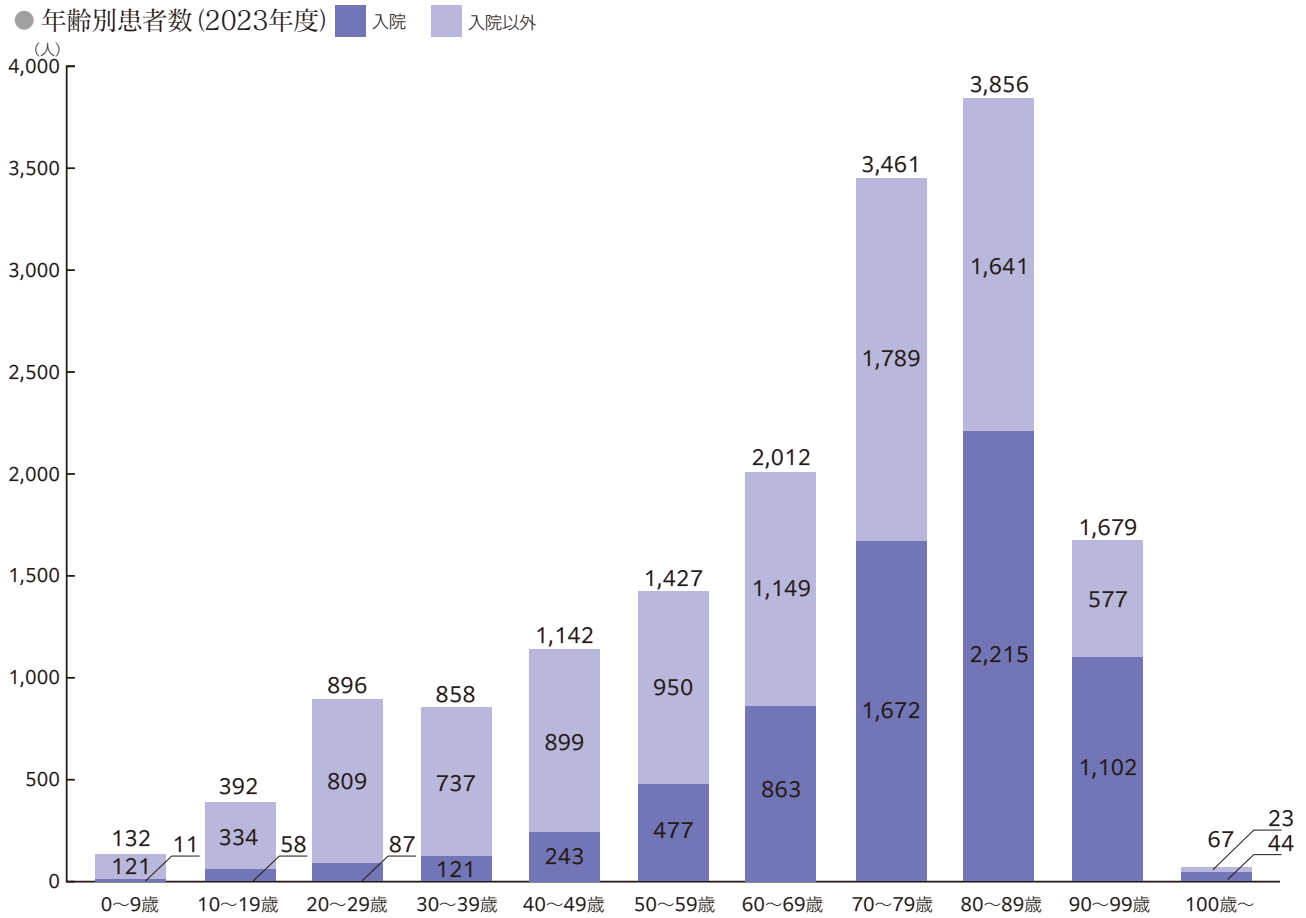
● ウォークイン



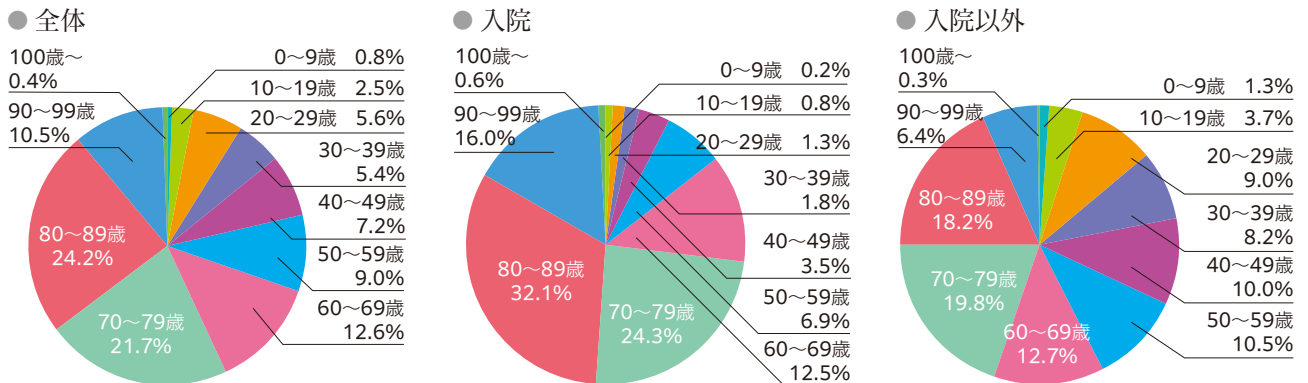
● 救急車等



# 4 年齢構成



《年齢別患者数の割合》



# 5 CPA数【CPA (cardio pulmonary arrest) : 心肺停止】

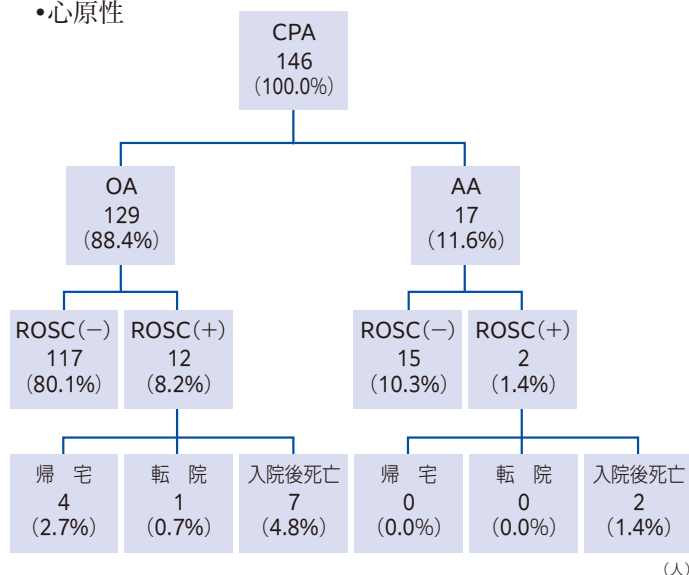
## ● 受入件数

内 訳	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
OA ROSC (-)	159	61.9%	174	67.4%	204	70.1%	205	64.3%	194	66.7%
OA ROSC (+) ※車内 ROSC (+) 含む	52	20.2%	37	14.3%	50	17.2%	59	18.5%	44	15.1%
AA ROSC (-)	24	9.3%	15	5.8%	25	8.6%	34	10.7%	36	12.4%
AA ROSC (+)	22	8.6%	32	12.4%	12	4.1%	21	6.6%	17	5.8%
合 計	257	100.0%	258	100.0%	291	100.0%	319	100.0%	291	100.0%

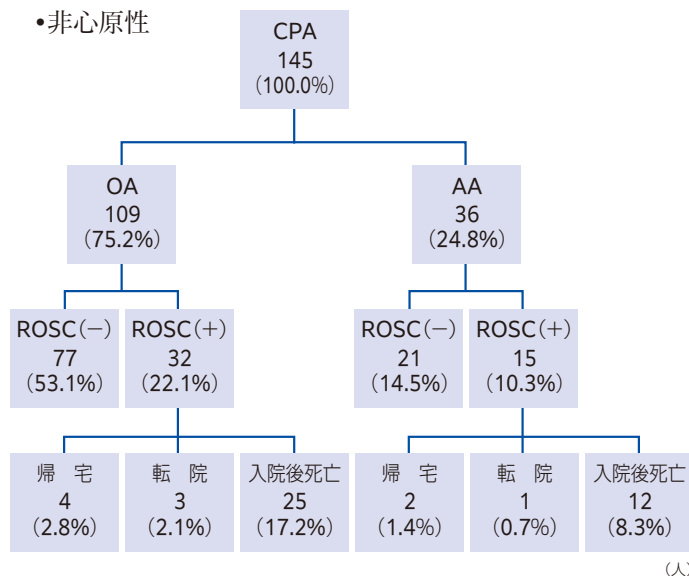
OA…到着 (来院) 時心肺停止 AA…到着 (来院) 直後心肺停止 ROSC…心拍再開 (return of spontaneous circulation)

## ● 2023年度

### ● 心原性

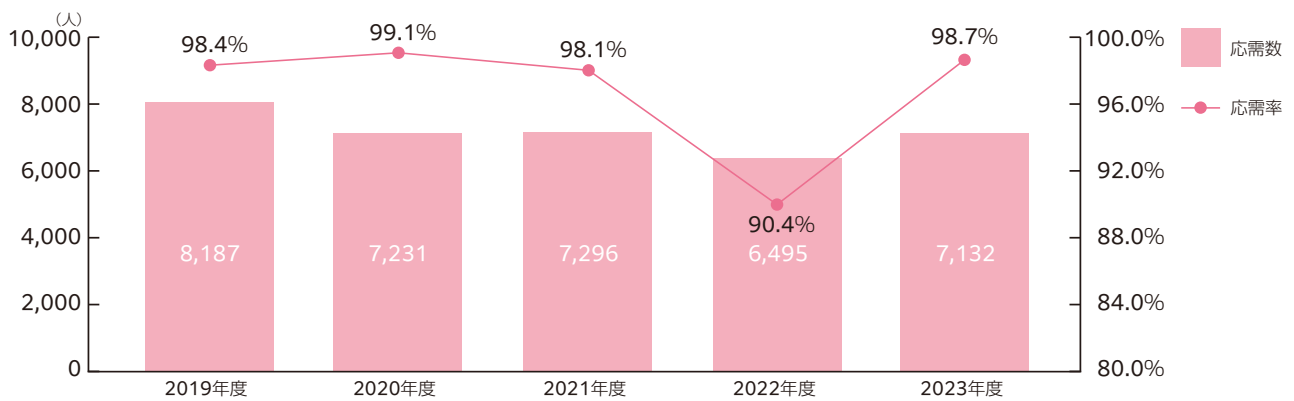


### ● 非心原性



## 6 救急ホットライン応需数

種 別	2019 年度			2020 年度			2021 年度			2022 年度			2023 年度		
	件数	応需数	応需率	件数	応需数	応需率	件数	応需数	応需率	件数	応需数	応需率	件数	応需数	応需率
救急車	8,178	8,048	98.4%	7,178	7,117	99.2%	7,313	7,173	98.1%	7,039	6,349	90.2%	7,089	7,000	98.7%
ドクターヘリ	116	113	97.4%	95	92	96.8%	104	100	96.2%	122	119	97.5%	105	100	95.2%
防災ヘリ	26	26	100.0%	23	22	95.7%	23	23	100.0%	27	27	100.0%	32	32	100.0%
合 計	8,320	8,187	98.4%	7,296	7,231	99.1%	7,440	7,296	98.1%	7,188	6,495	90.4%	7,226	7,132	98.7%



## 7 救命救急センター 42 床への入院患者数

### 7-1 診療科別患者数

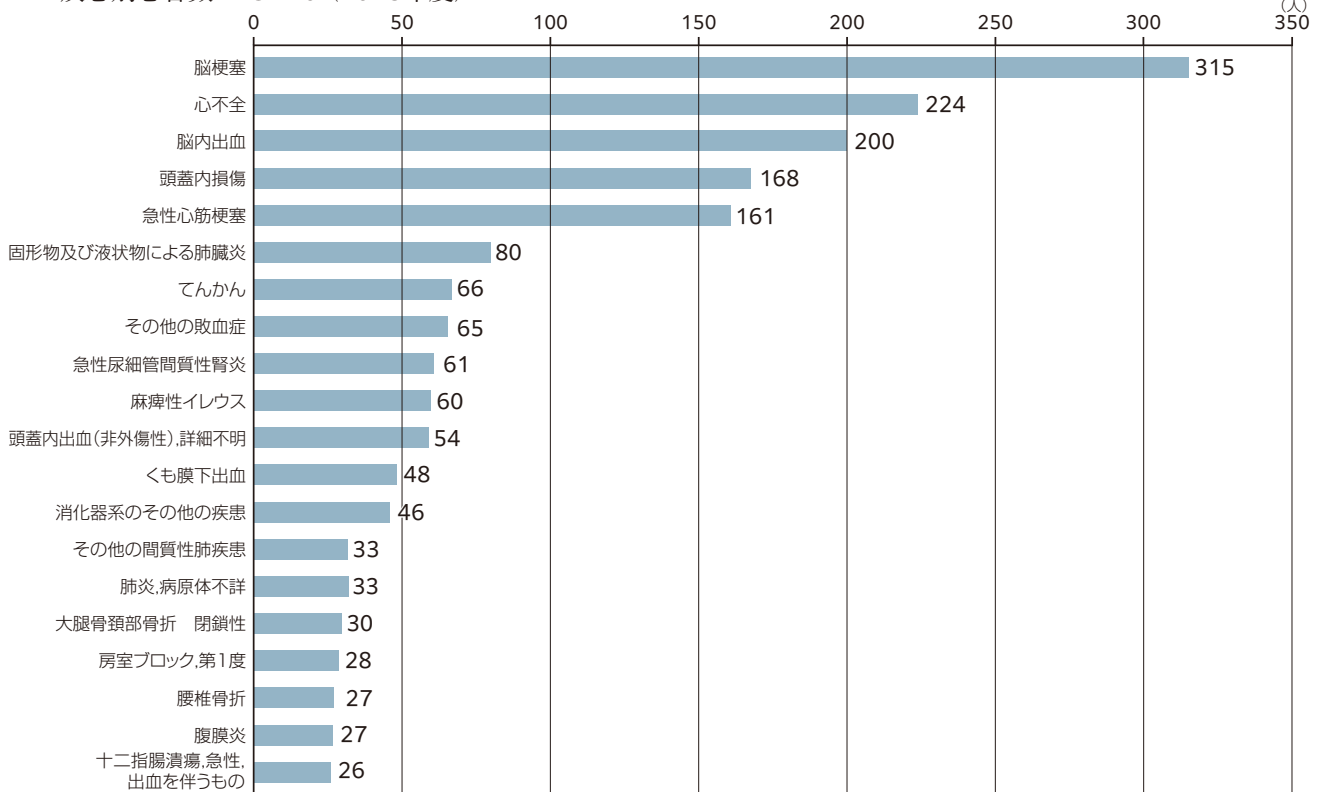
診療科	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
循環器内科	489	472	526	465	531
脳神経外科	622	537	523	492	506
救急・総合診療科	495	484	433	375	471
脳神経内科	384	257	323	346	421
消化器内科	263	291	305	273	312
呼吸器科	295	253	246	205	231
腎・泌尿器科	80	80	155	150	158
外科	120	125	123	101	119
整形外科	75	93	70	89	95
総合腫瘍科	7	3	19	19	20
心臓血管外科	14	21	28	23	7
糖尿病内科	16	11	8	6	1
包括診療科	3	5	0	0	0
合 計	2,863	2,632	2,759	2,544	2,872

# 7 救命救急センター 42 床への入院患者数

## 7-2 疾患別患者数 (TOP20)

疾患 (TOP20)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
脳梗塞	291	191	229	264	315
心不全	159	194	232	190	224
脳内出血	256	226	211	199	200
頭蓋内損傷	234	166	177	164	168
急性心筋梗塞	177	158	166	160	161
固形物及び液状物による肺臓炎	96	101	78	59	80
てんかん	68	59	56	39	66
その他の敗血症	57	73	56	48	65
急性尿細管間質性腎炎	38	37	49	49	61
麻痺性イレウス	48	55	54	43	60
頭蓋内出血 (非外傷性), 詳細不明	32	56	48	27	54
くも膜下出血	85	64	65	59	48
消化器系のその他の疾患	55	65	44	49	46
その他の間質性肺疾患	26	28	39	30	33
肺炎, 病原体不詳	32	41	34	24	33
大腿骨頸部骨折 閉鎖性	19	26	24	29	30
房室ブロック, 第1度	25	16	20	13	28
腰椎骨折	25	25	24	17	27
腹膜炎	18	26	29	29	27
十二指腸潰瘍, 急性, 出血を伴うもの	16	10	20	20	26

● 疾患別患者数 TOP20 (2023年度)



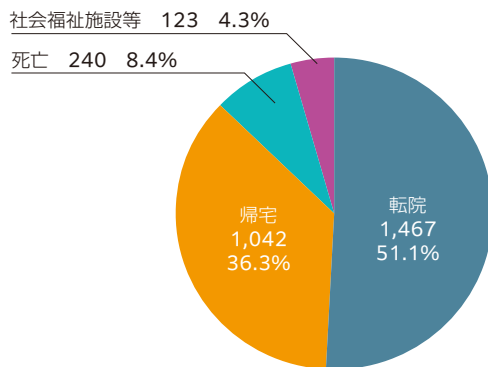


### 7-3 転帰別患者数

(人)

転 帰	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
転院	1,537	1,401	1,378	1,233	1,467
帰宅	1,040	954	1,015	1,021	1,042
死亡	191	181	216	201	240
社会福祉施設等	95	96	150	89	123
合 計	2,863	2,632	2,759	2,544	2,872

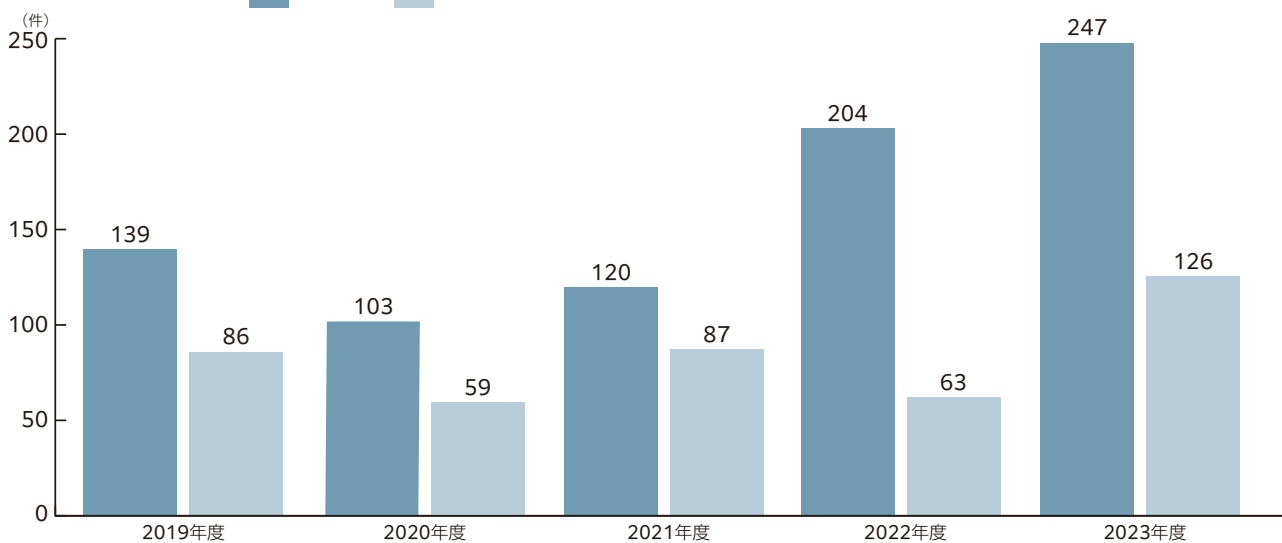
#### ● 2023年度



### 7-4 外傷データバンク (AIS・ISS 別患者数)

AIS (部位や損傷形態、重症度を表す) 3以上とISS (多部位、多発損傷を表す) 16以上の件数

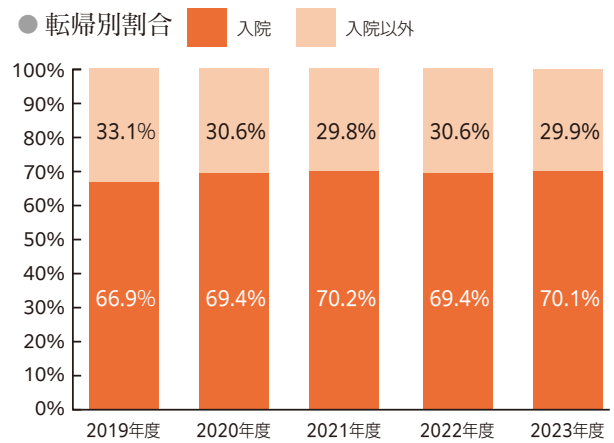
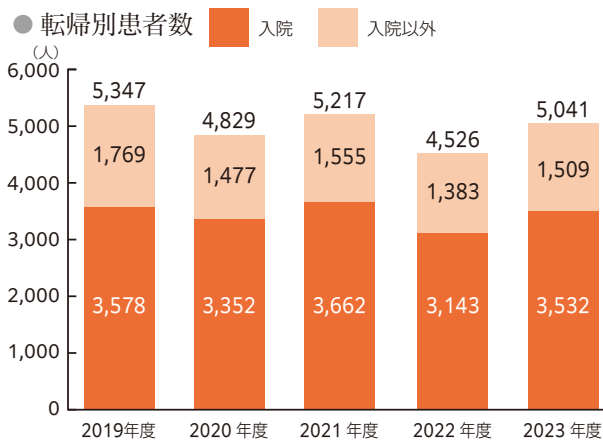
● AIS・ISS別患者数 ■ AIS 3以上 ■ ISS 16以上



# 8 紹介患者数

## 8-1 紹介患者の転帰

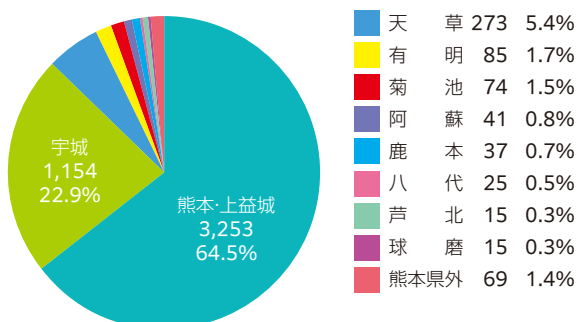
	転帰	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
紹介患者数	入院	3,578	3,352	3,662	3,143	3,532
	入院以外	1,769	1,477	1,555	1,383	1,509
	合計	5,347	4,829	5,217	4,526	5,041



## 8-2 二次保健医療圏別紹介患者数 (患者の居住区を基準としている)

二次保健医療圏	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
熊本県内	熊本・上益城	3,323	3,053	3,264	2,870	3,253
	宇城	1,306	1,227	1,331	1,082	1,154
	天草	234	199	231	203	273
	有明	99	89	98	75	85
	菊池	117	89	90	79	74
	阿蘇	56	24	32	55	41
	鹿本	42	31	54	41	37
	八代	57	42	23	39	25
	芦北	13	7	18	13	15
	球磨	16	10	16	9	15
熊本県外	84	58	60	60	69	
合計	5,347	4,829	5,217	4,526	5,041	

● 2次医療圏別患者数割合 (2023年度)



## 9 医師(現場) 出動件数

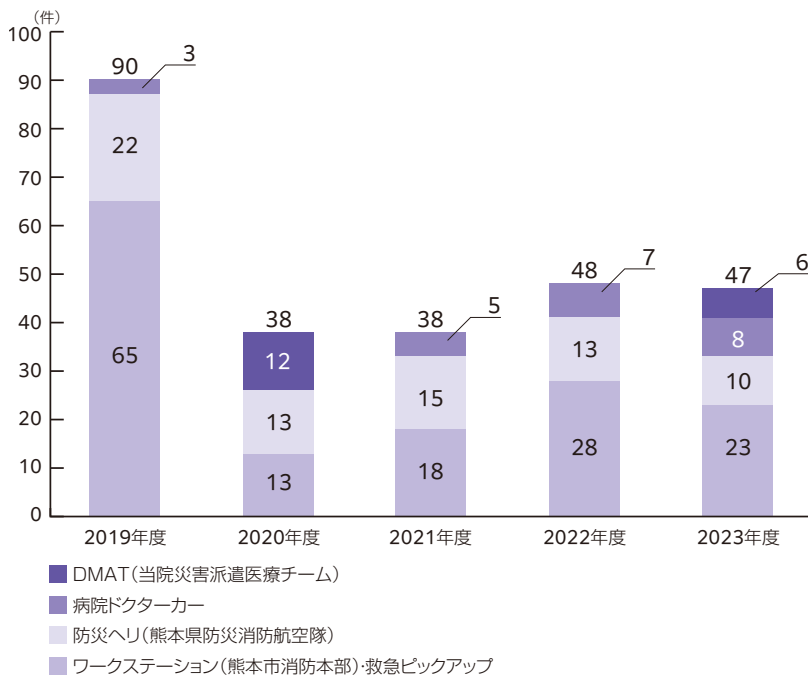
医師による(現場) 出動件数。

(件)

車 両	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
ワークステーション(熊本市消防本部)・救急ピックアップ	65	13	18	28	23
防災ヘリ(熊本県防災消防航空隊)	22	13	15	13	10
病院ドクターカー	3	0	5	7	8
DMAT(当院災害派遣医療チーム)	0	12 (4チーム)	0	0	6 (1チーム)
合 計	90	38	38	48	47

### 《出動内容》

- ・ワークステーション・救急ピックアップは現場出動の件数  
※2020年4～9月・2021年1～3月及び8～9月・2022年1～3月は、新型コロナウイルス感染症の影響によりワークステーション活動を休止
- ・防災ヘリ・病院ドクターカーは病院間搬送のため搭乗した件数
- ・DMATは被災地活動した延べ日数(災害拠点本部及び被災地派遣)



(件)

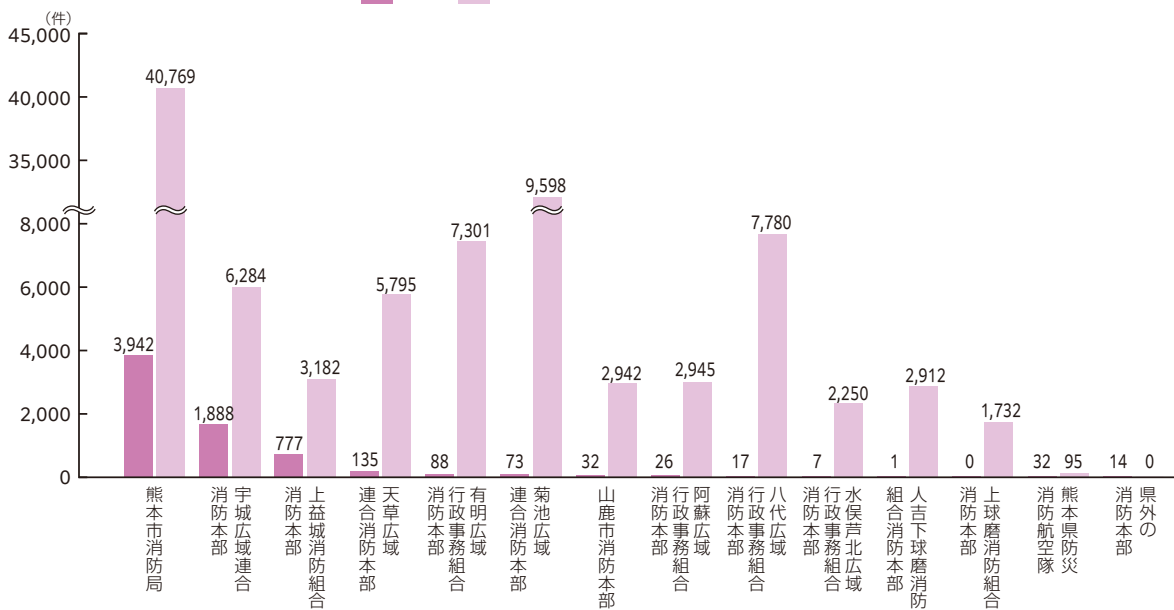
車 両	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ワークステーション(熊本市消防本部)・救急ピックアップ	0	6	4	1	2	1	4	2	1	1	1	0	23
防災ヘリ(熊本県防災消防航空隊)	1	0	0	0	1	0	1	1	2	3	0	1	10
病院ドクターカー	2	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	8
DMAT(当院災害派遣医療チーム)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
合 計	3	7	4	1	4	1	6	4	4	10	1	2	47

# 10 救急隊搬送件数

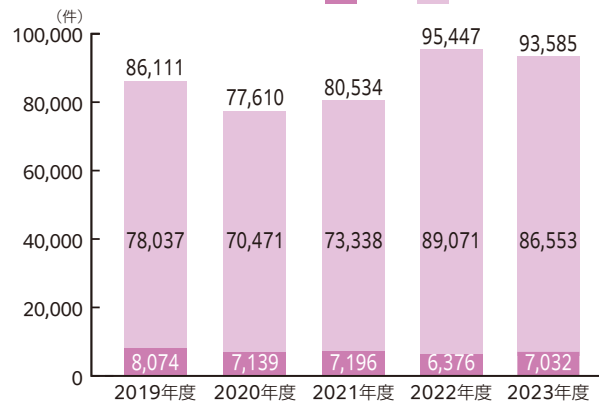
(件)

消防本部	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
	当院	全体	当院	全体	当院	全体	当院	全体	当院	全体
熊本市消防局	4,339	39,027	3,781	34,283	3,867	34,478	3,574	44,807	3,942	40,769
宇城広域連合消防本部	2,171	6,255	2,083	5,715	2,047	6,190	1,666	6,018	1,888	6,284
上益城消防組合消防本部	1,081	2,794	859	2,392	843	2,651	720	2,936	777	3,182
天草広域連合消防本部	115	5,286	103	4,768	126	5,144	102	5,781	135	5,795
有明広域行政事務組合消防本部	96	6,489	89	6,105	74	6,480	65	7,111	88	7,301
菊池広域連合消防本部	109	7,543	100	6,806	93	7,501	95	8,278	73	9,598
山鹿市消防本部	34	2,644	27	2,431	53	2,391	38	2,706	32	2,942
阿蘇広域行政事務組合消防本部	24	2,620	16	2,370	27	2,670	39	3,069	26	2,945
八代広域行政事務組合消防本部	38	6,734	38	6,287	13	6,674	24	7,593	17	7,780
水俣芦北広域行政事務組合消防本部	5	2,204	1	2,010	7	2,054	3	2,324	7	2,250
人吉下球磨消防組合消防本部	8	2,885	2	2,733	6	2,675	1	2,981	1	2,912
上球磨消防組合消防本部	0	1,465	0	1,595	0	1,521	1	1,731	0	1,732
熊本県防災消防航空隊	26	165	22	115	23	105	27	112	32	95
県外の消防本部	28	—	18	—	17	—	21	—	14	—
合計	8,074	86,111	7,139	77,610	7,196	80,534	6,376	95,447	7,032	93,585

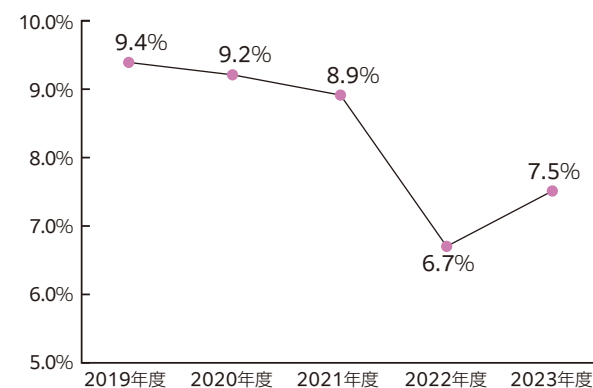
● 消防本部別 (2023年度) ■ 当院 □ 全体



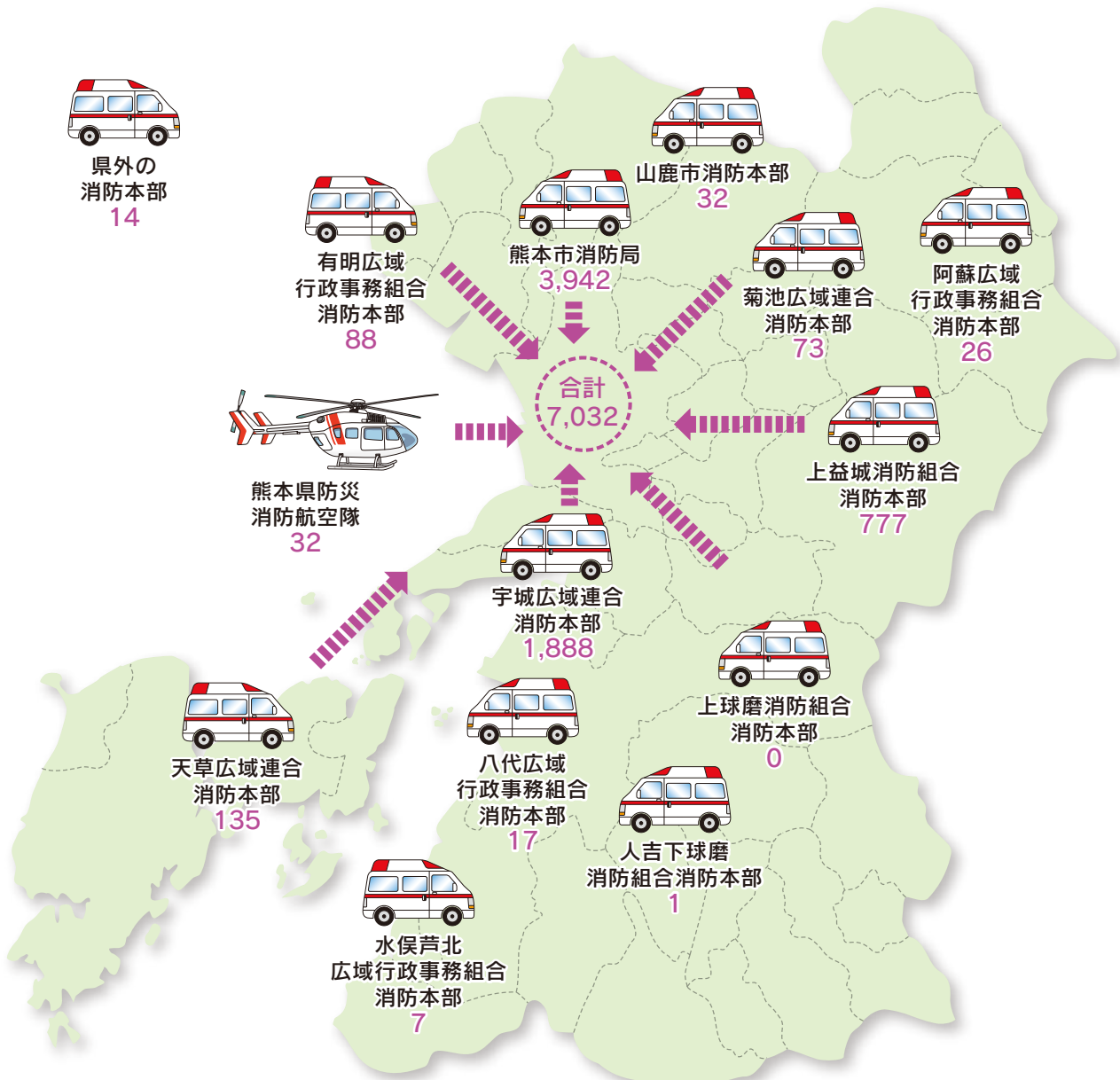
● 県内の救急隊搬送件数 ■ 当院 □ 他の医療機関



● 県全体から見た当院への救急隊搬送割合



● 当院への搬送件数 (2023年度)



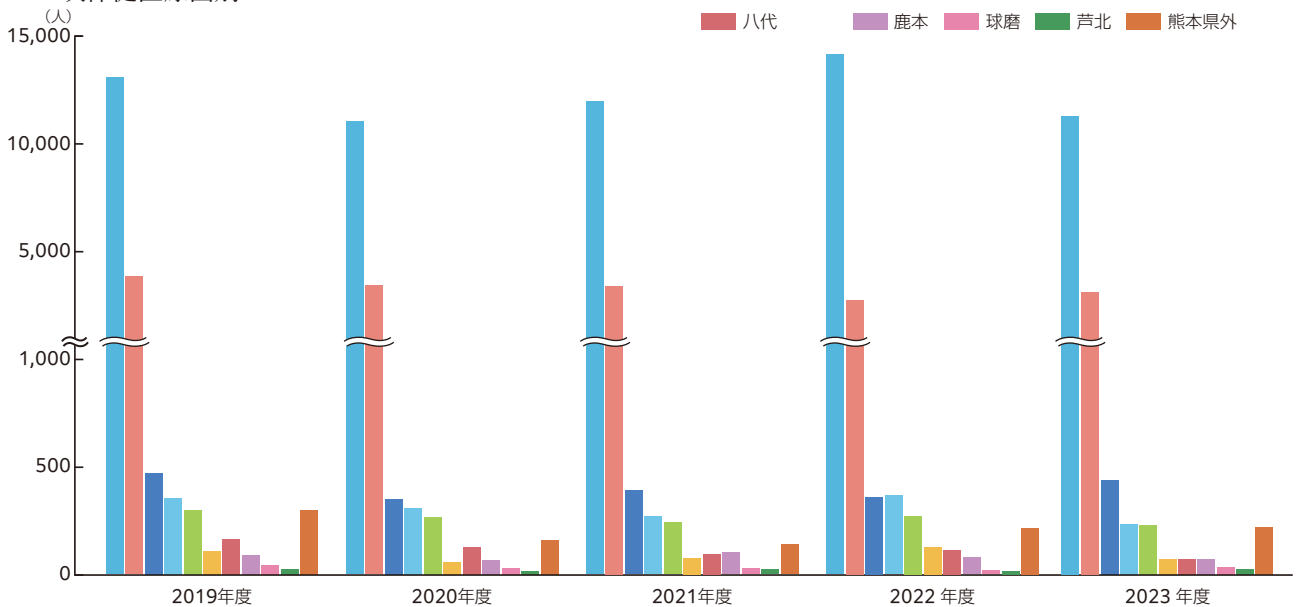
# 11 二次保健医療圏

## 11-1 患者数

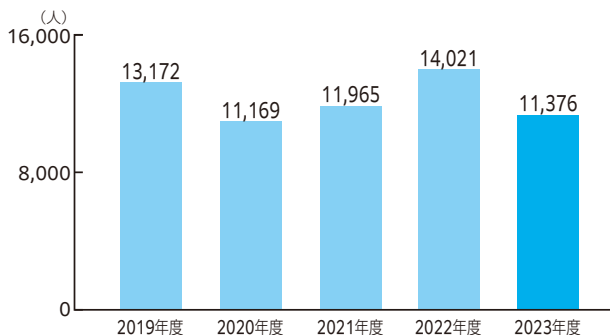
患者の居住区を基に二次保健医療圏で表した。

二次保健医療圏		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
熊本県内	熊本・上益城	13,172	70.6%	11,169	69.6%	11,965	70.9%	14,021	74.7%	11,376	71.4%
	宇城	3,777	20.2%	3,477	21.7%	3,486	20.7%	3,213	17.1%	3,091	19.4%
	天草	433	2.3%	356	2.2%	409	2.4%	355	1.9%	457	2.9%
	菊池	328	1.8%	314	2.0%	281	1.7%	363	1.9%	244	1.5%
	有明	275	1.5%	268	1.7%	253	1.5%	268	1.4%	238	1.5%
	阿蘇	102	0.5%	57	0.4%	80	0.5%	125	0.7%	76	0.5%
	八代	151	0.8%	130	0.8%	98	0.6%	112	0.6%	75	0.5%
	鹿本	83	0.4%	70	0.4%	107	0.6%	77	0.4%	73	0.5%
	球磨	39	0.2%	31	0.2%	28	0.2%	18	0.1%	37	0.2%
	芦北	23	0.1%	15	0.1%	24	0.1%	16	0.1%	27	0.2%
熊本県外	273	1.5%	164	1.0%	146	0.9%	212	1.1%	228	1.4%	
合計	18,656	100.0%	16,051	100.0%	16,877	100.0%	18,780	100.0%	15,922	100.0%	

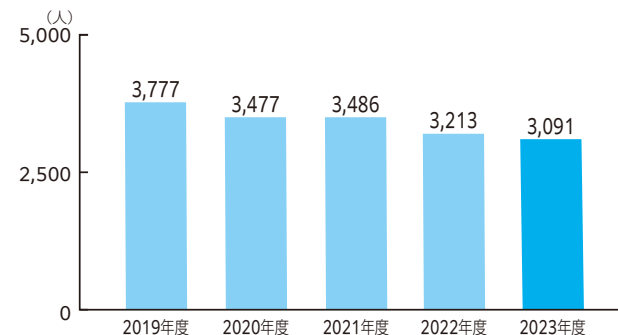
● 二次保健医療圏別



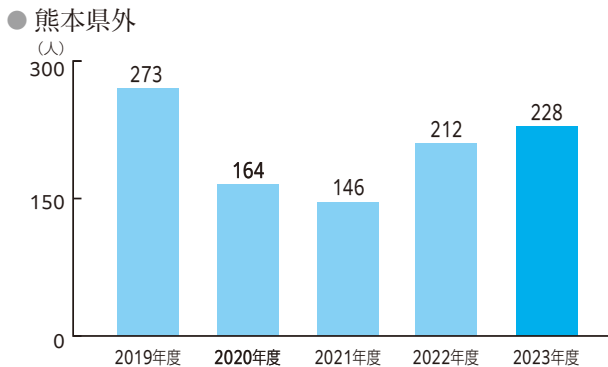
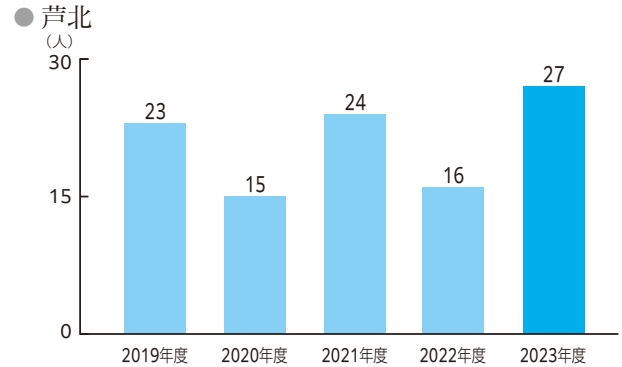
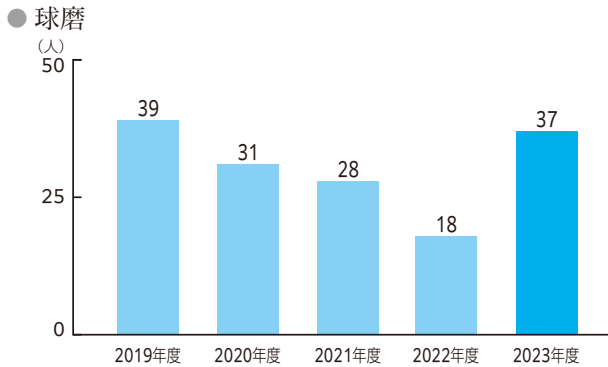
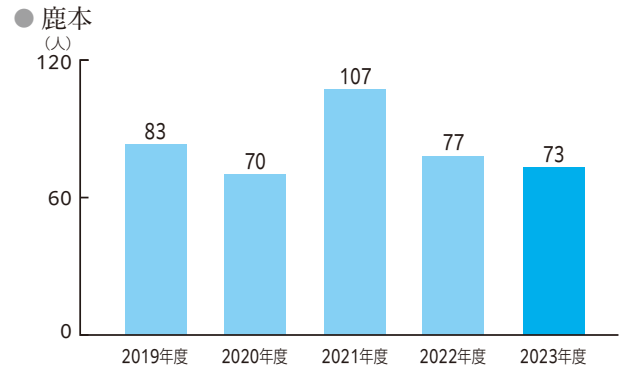
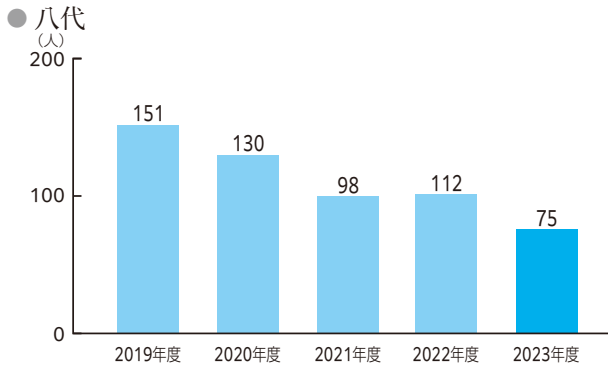
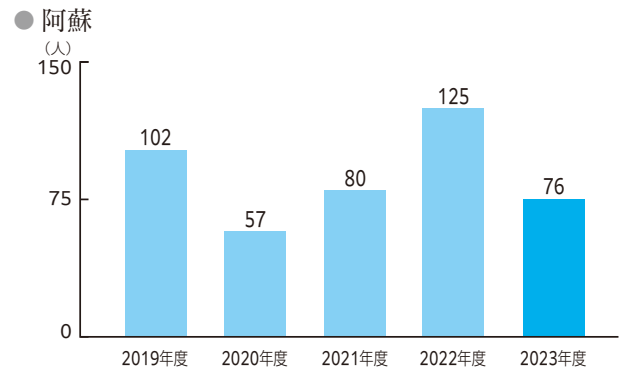
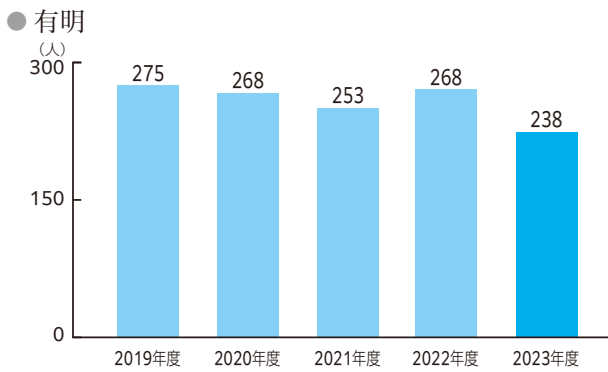
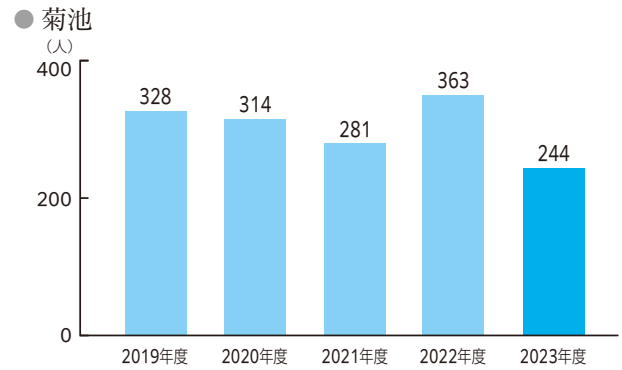
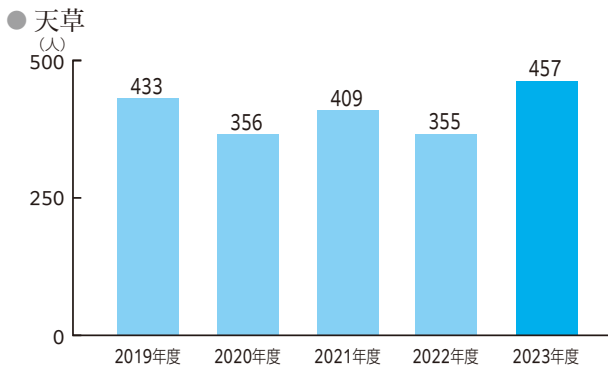
● 熊本・上益城



● 宇城





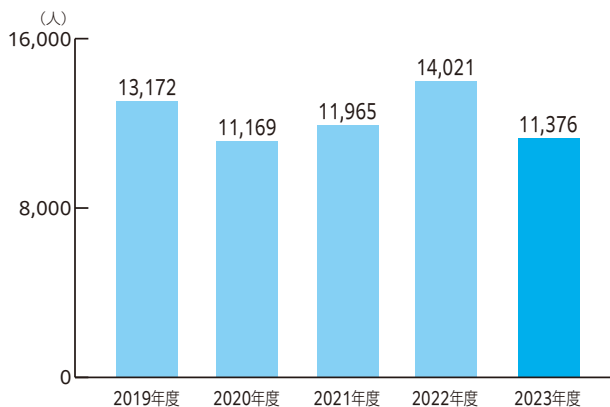


# 11 二次保健医療圏

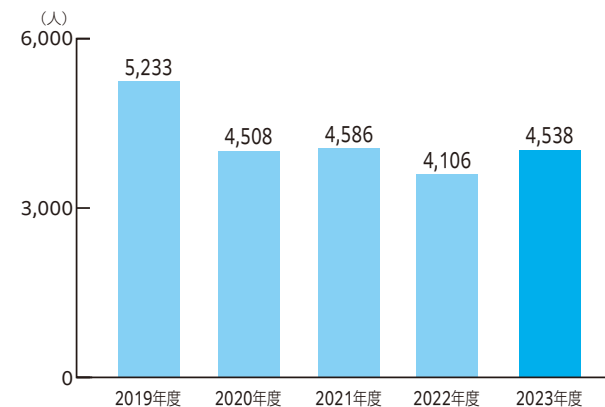
## 11-2 来院手段別

### 熊本・上益城

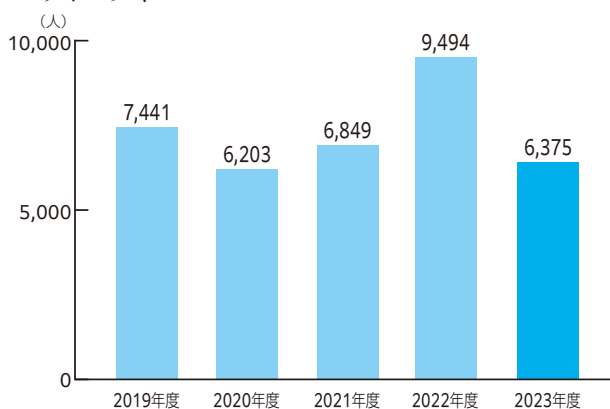
● 地域合計



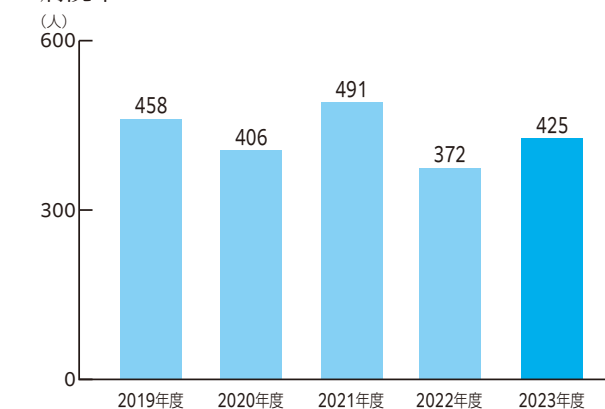
● 救急車



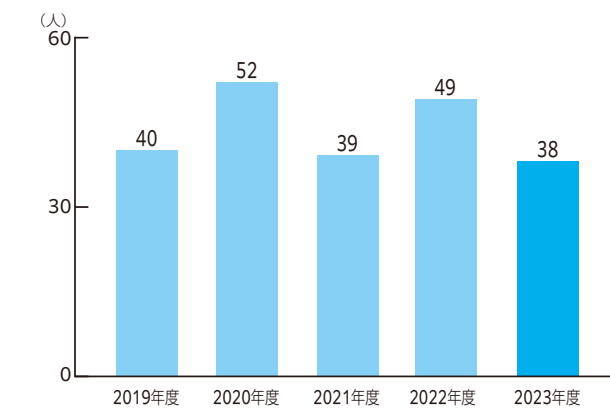
● ウォークイン



● 病院車

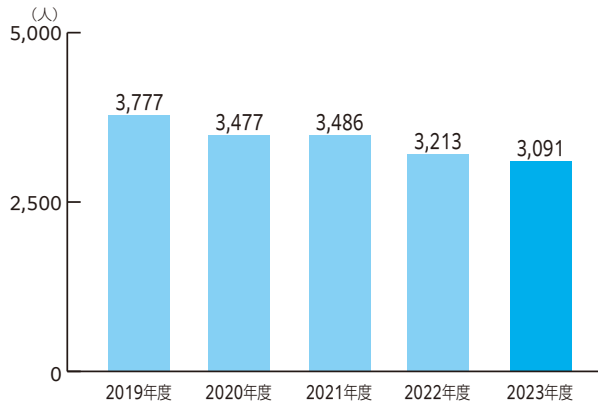


● 防災ヘリ・Dr.ヘリ

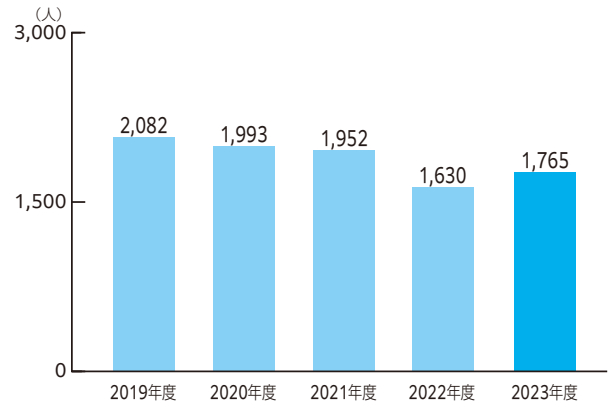


## 宇城

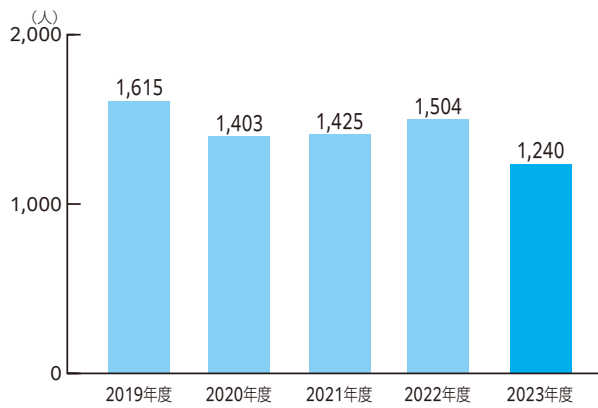
● 地域合計



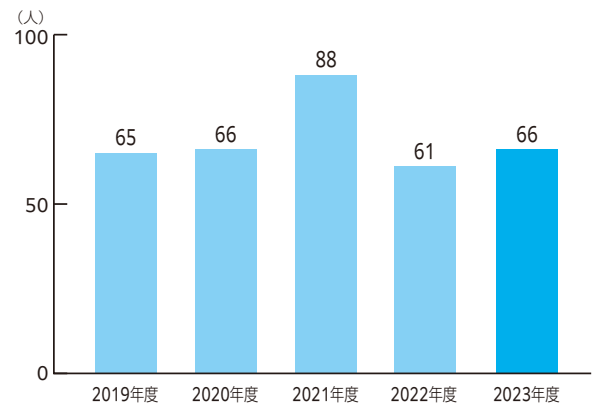
● 救急車



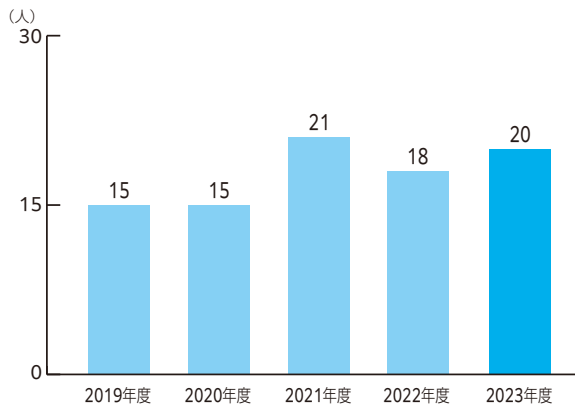
● ウォークイン



● 病院車



● 防災ヘリ・Dr.ヘリ

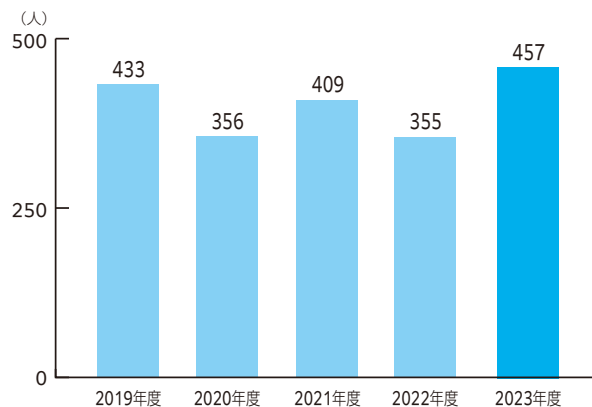


# 11 二次保健医療圏

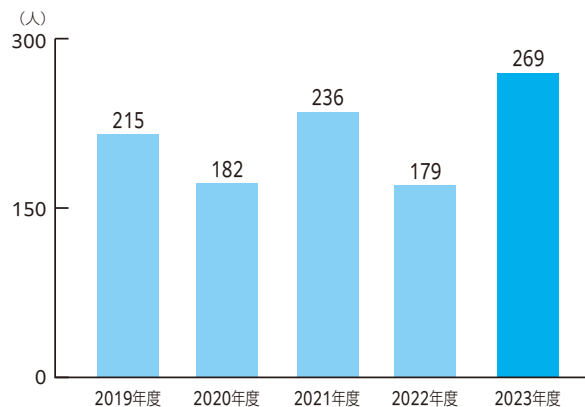
## 11-2 来院手段別

### 天 草

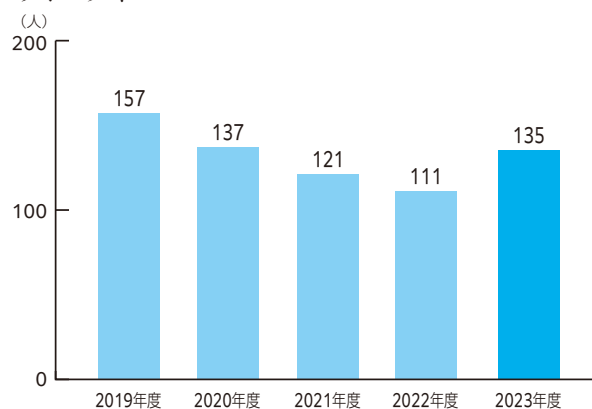
● 地域合計



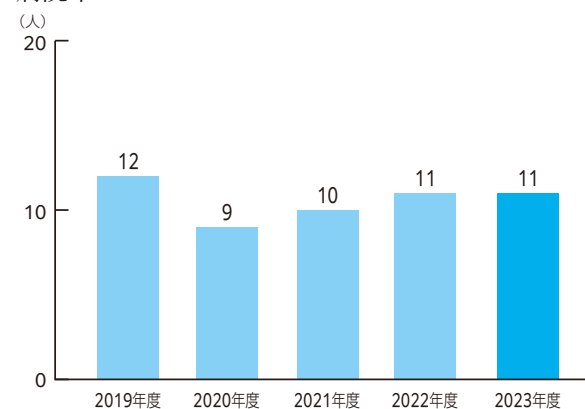
● 救急車



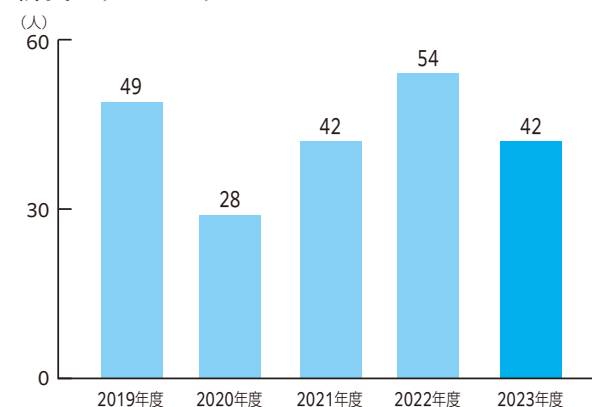
● ウォークイン



● 病院車

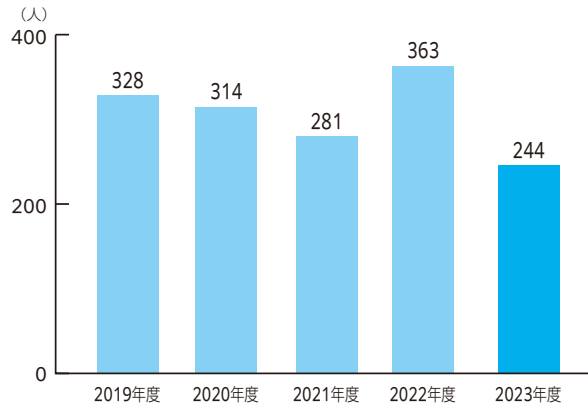


● 防災ヘリ・Dr.ヘリ

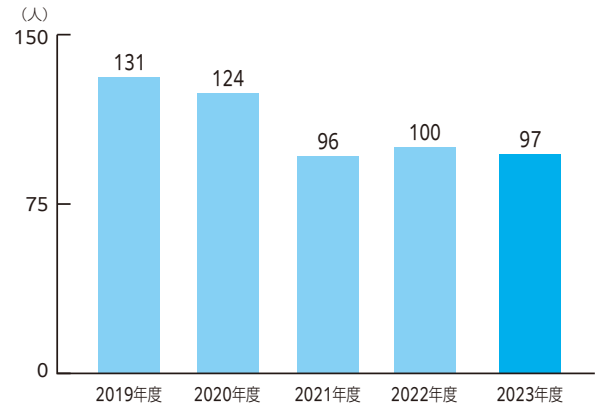


## 菊池

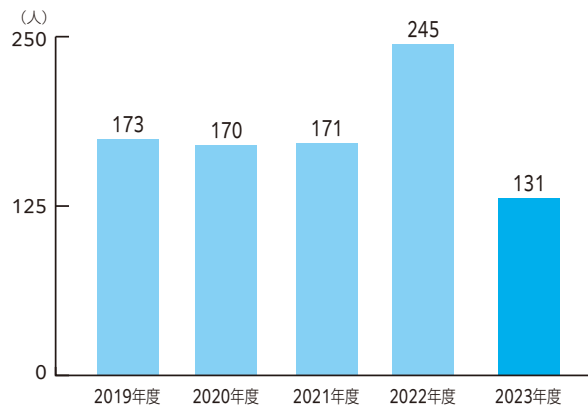
### ● 地域合計



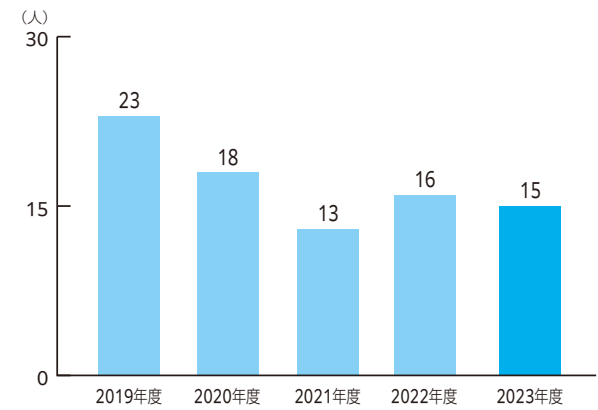
### ● 救急車



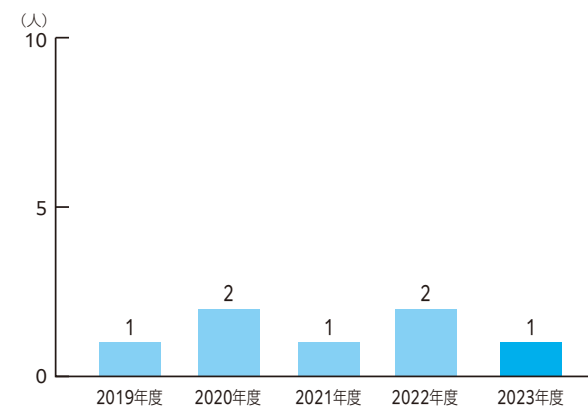
### ● ウォークイン



### ● 病院車



### ● 防災ヘリ・Dr.ヘリ

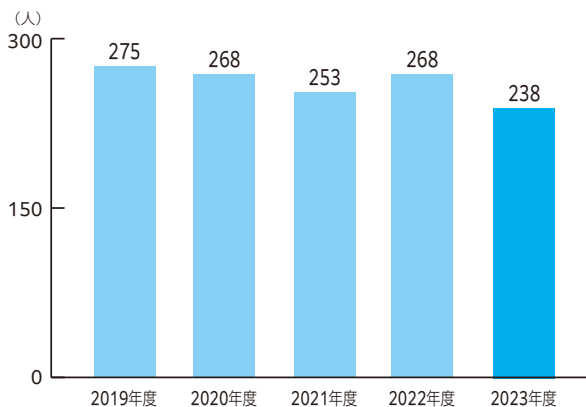


# 11 二次保健医療圏

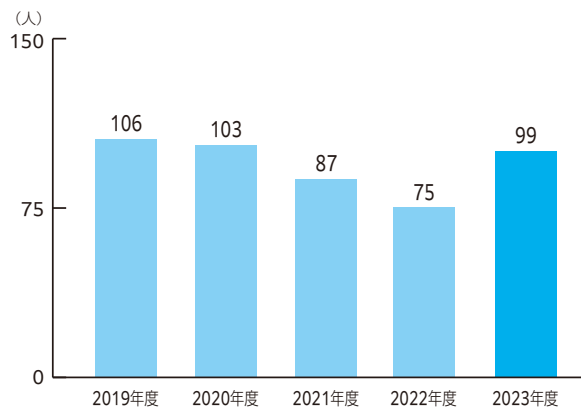
## 11-2 来院手段別

有 明

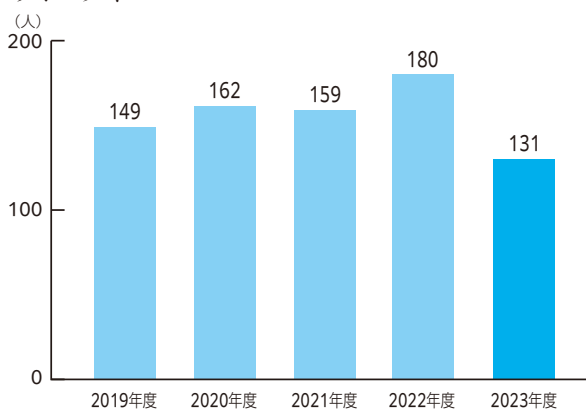
● 地域合計



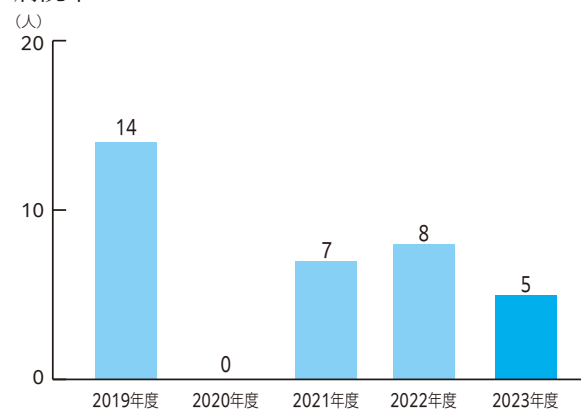
● 救急車



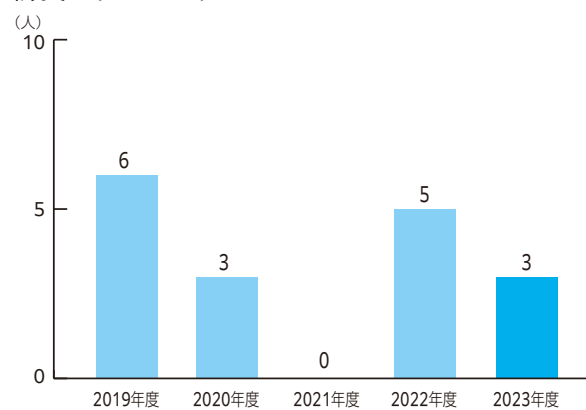
● ウォークイン



● 病院車



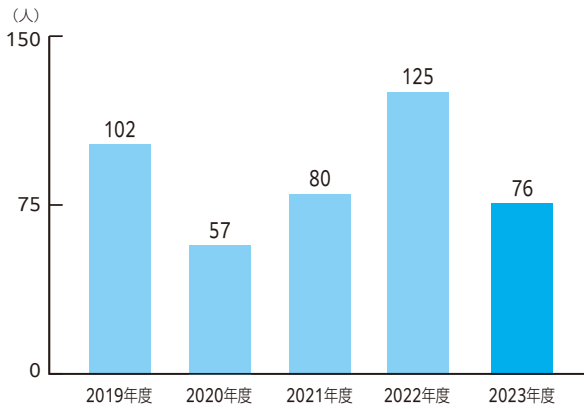
● 防災ヘリ・Dr.ヘリ



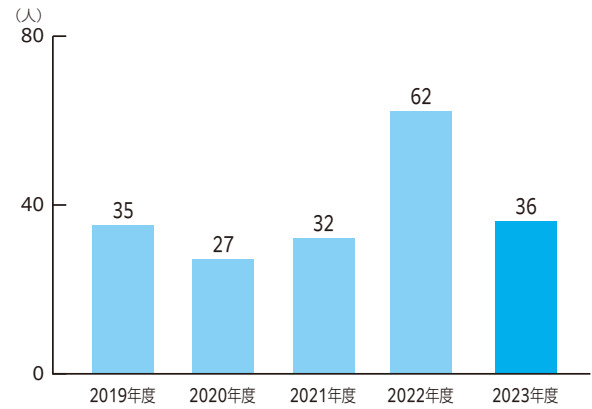


## 阿 蘇

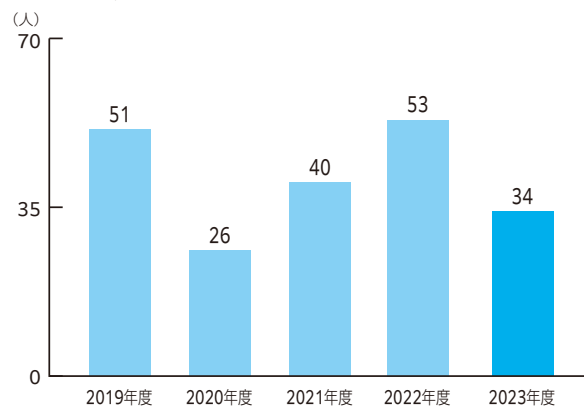
### ● 地域合計



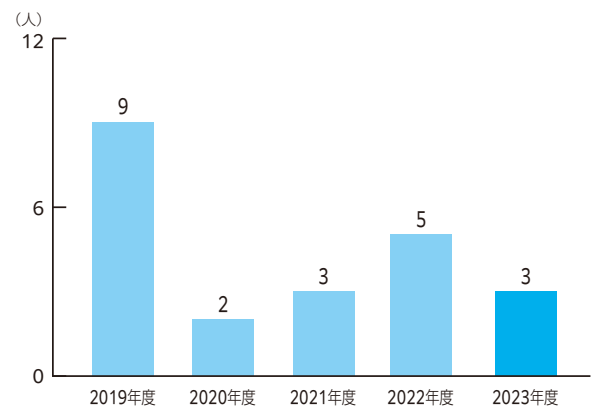
### ● 救急車



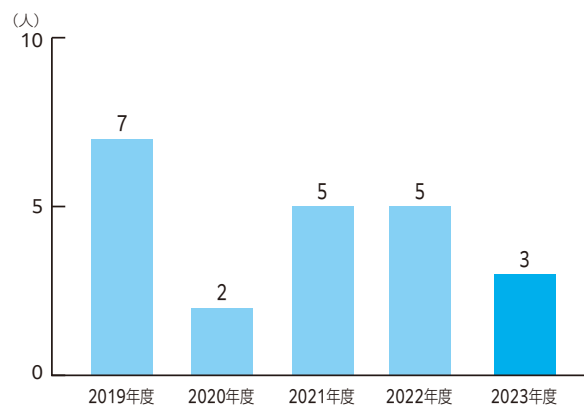
### ● ウォークイン



### ● 病院車



### ● 防災ヘリ・Dr.ヘリ

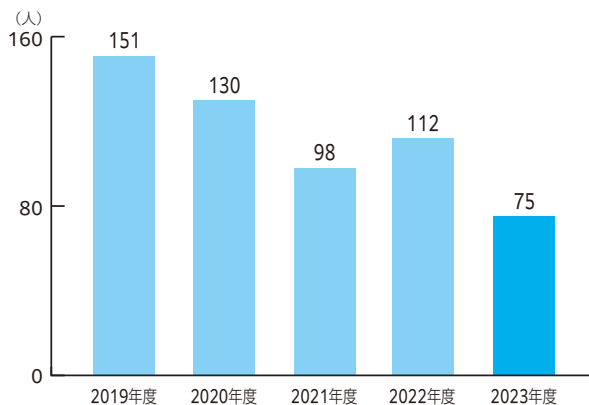


# 11 二次保健医療圏

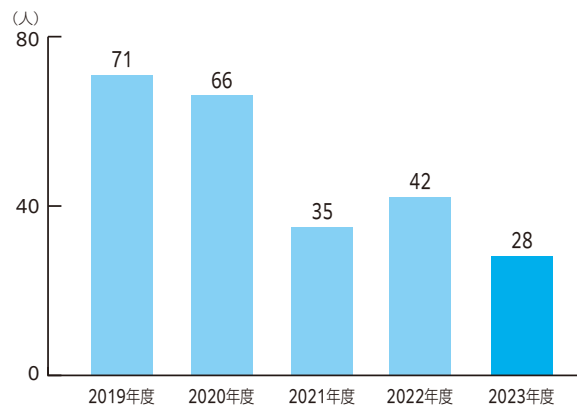
## 11-2 来院手段別

### 八代

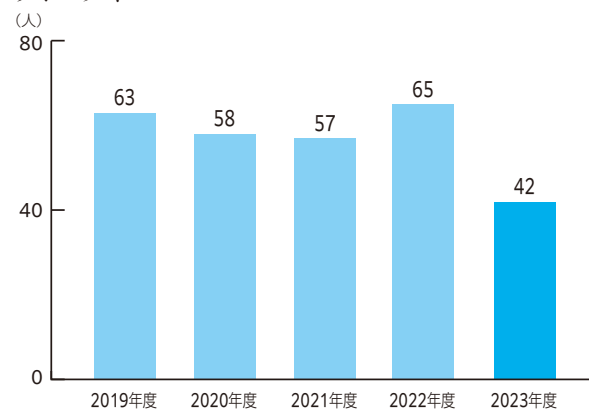
#### ● 地域合計



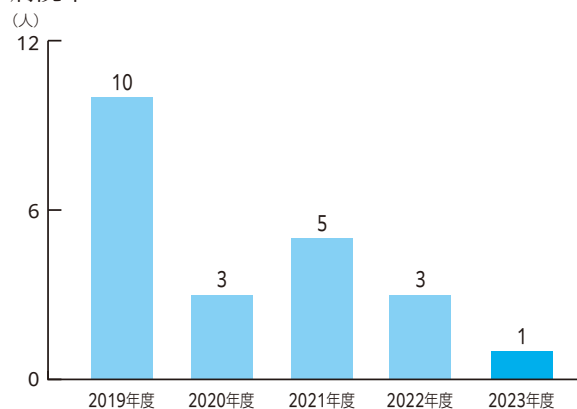
#### ● 救急車



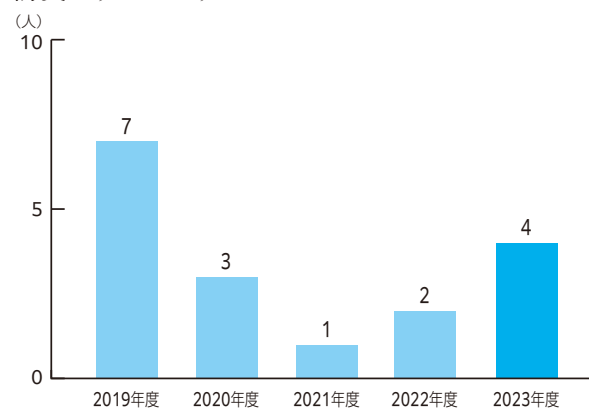
#### ● ウォークイン



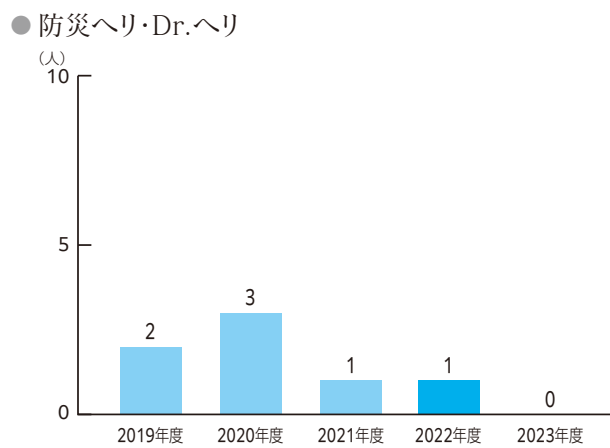
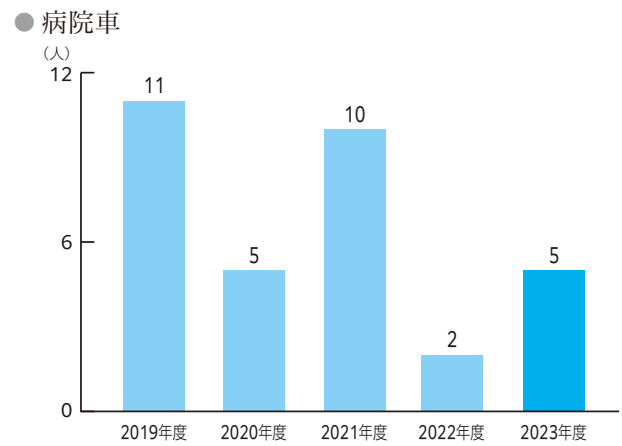
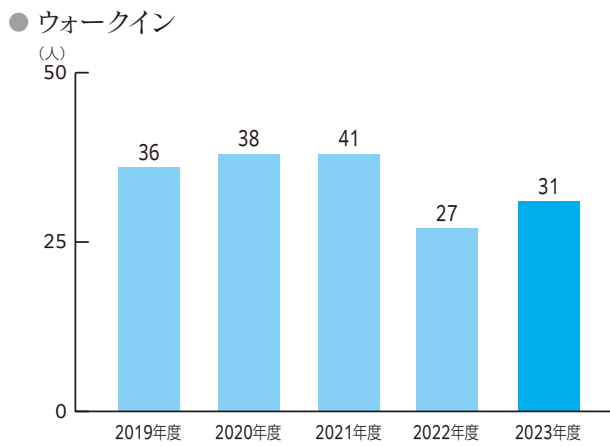
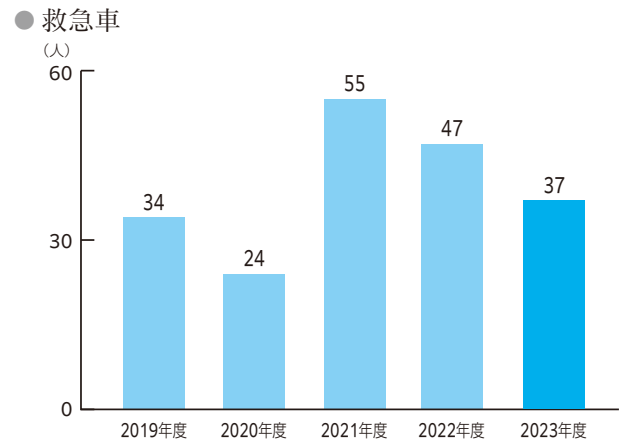
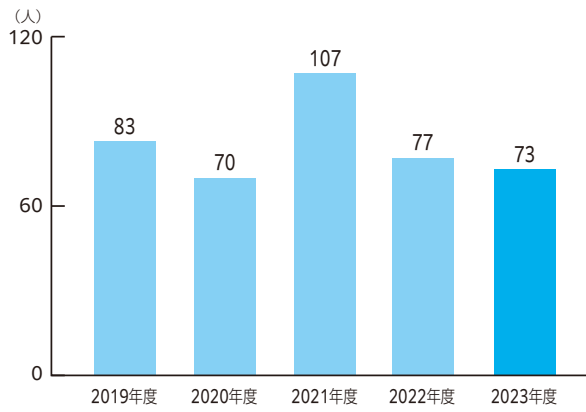
#### ● 病院車



#### ● 防災ヘリ・Dr.ヘリ



## 鹿本

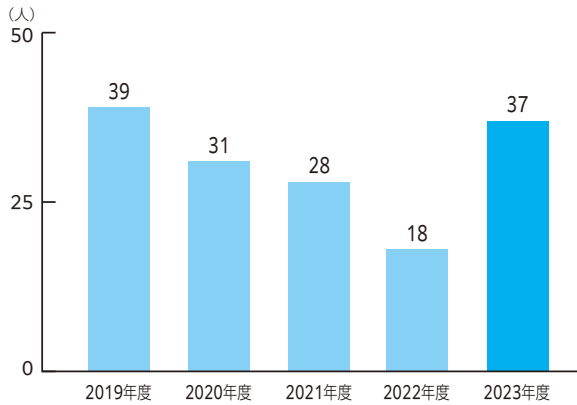


# 11 二次保健医療圏

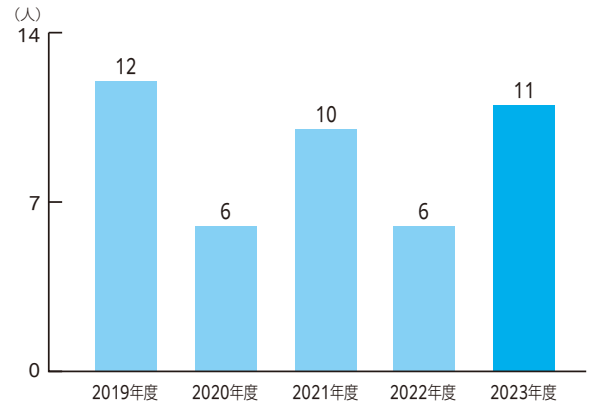
## 11-2 来院手段別

### 球 磨

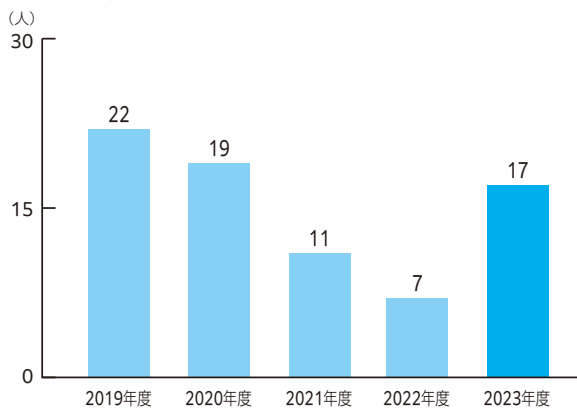
#### ● 地域合計



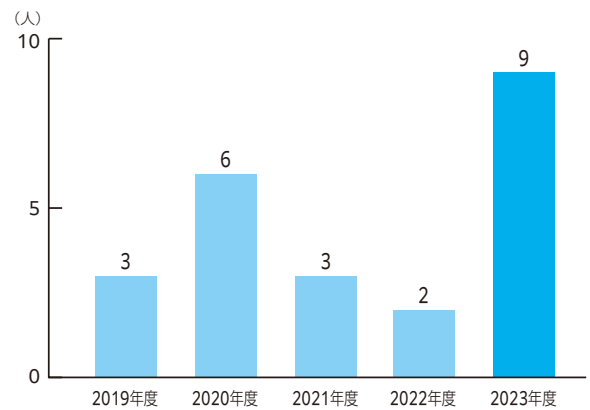
#### ● 救急車



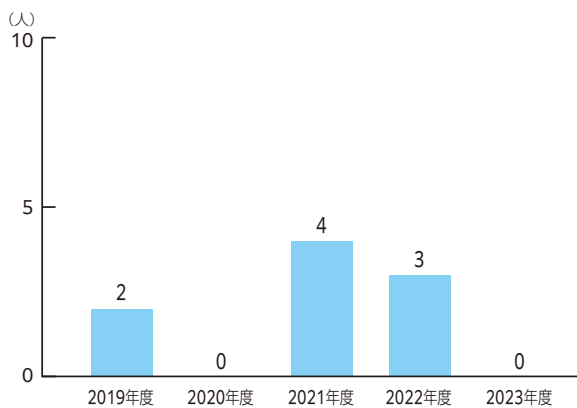
#### ● ウォークイン



#### ● 病院車

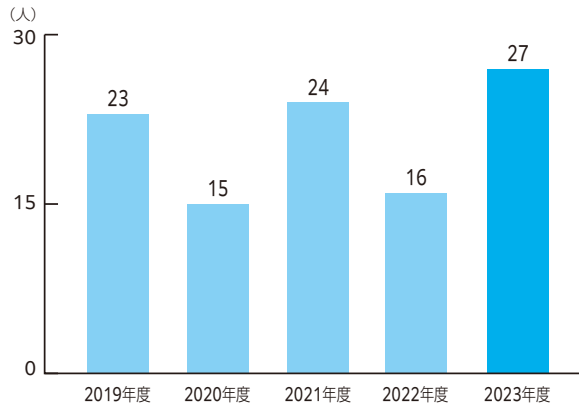


#### ● 防災ヘリ・Dr.ヘリ

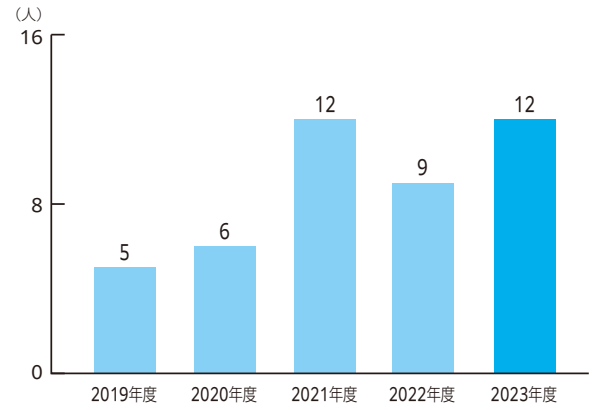


## 芦北

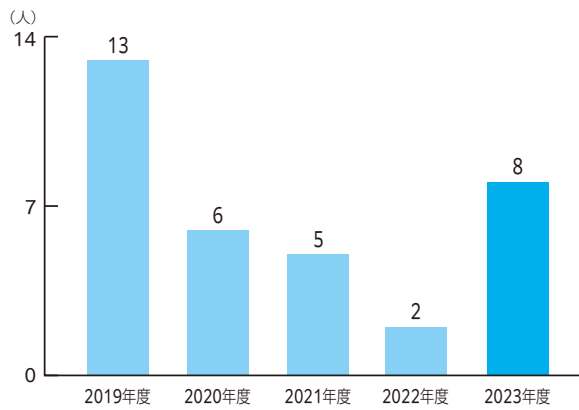
### ● 地域合計



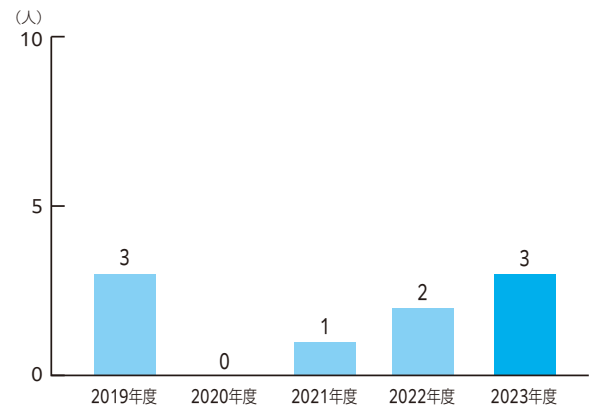
### ● 救急車



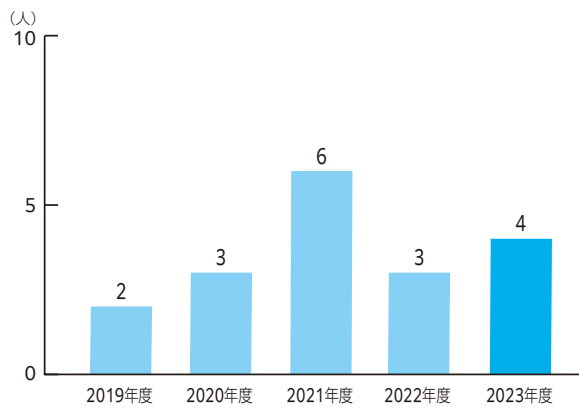
### ● ウォークイン



### ● 病院車



### ● 防災ヘリ・Dr.ヘリ

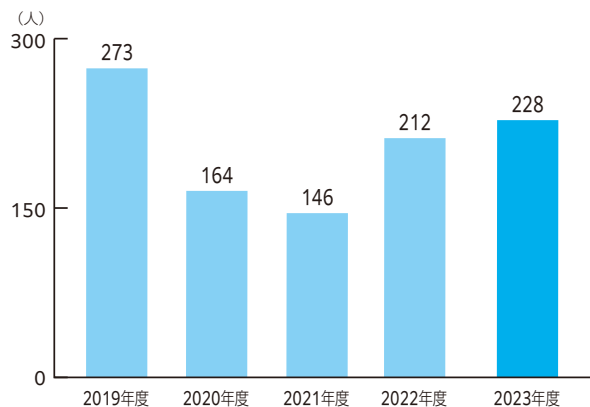


# 11 二次保健医療圏

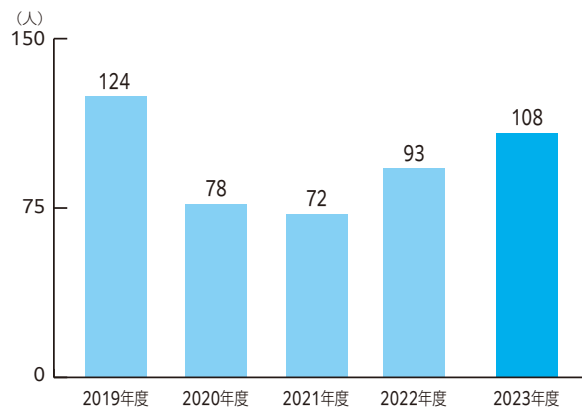
## 11-2 来院手段別

### 熊本県外

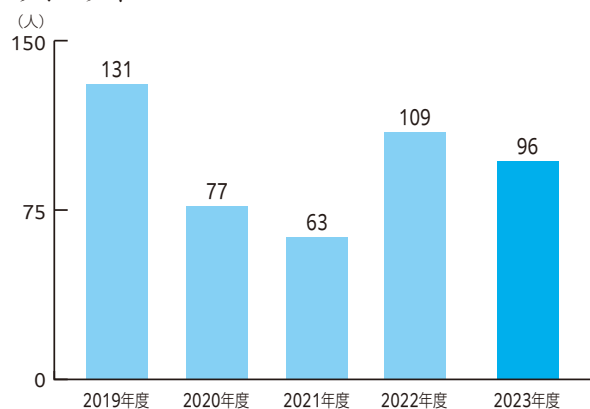
#### ● 地域合計



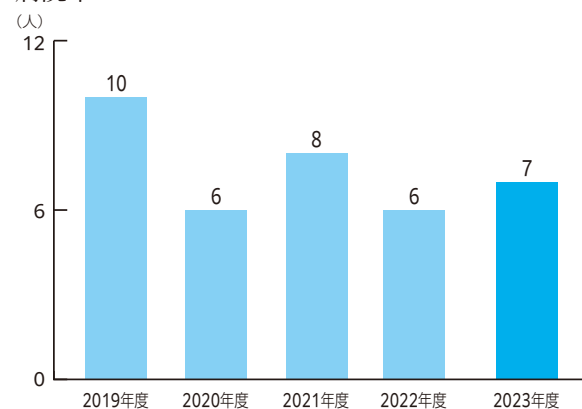
#### ● 救急車



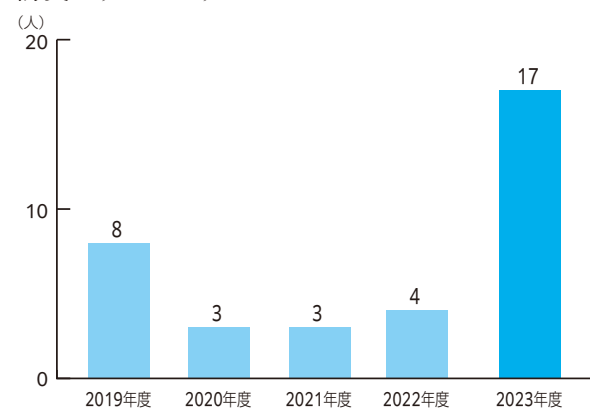
#### ● ウォークイン



#### ● 病院車



#### ● 防災ヘリ・Dr.ヘリ



# 救急統計

The Statistics of The Emergency Medical Care

2023

—《記事》—

*C o n t e n t s*

<u>令和6年能登半島地震での支援活動</u>	30
<u>JATEC熊本コース開催 (Japan Advanced Trauma Evaluation and Care)</u>	31
<u>4Rメディカルラリー2023開催</u>	32
<u>済生会熊本病院DMAT隊 能登半島地震の災害地へ派遣</u>	33

## ❁ 令和6年能登半島地震での支援活動

2024年1月1日、石川県で最大震度7を観測した令和6年能登半島地震において、当院から計15名のスタッフが被災地へ派遣されました。救命救急外来からは災害支援ナース・DMAT隊員の資格を取得している看護師2名の派遣を行い病院支援と現地活動を行いました。

病院支援では、1月7日厚生労働省より済生会本部に看護師派遣要請があり、院内で人選された2名(救急外来看護師・救命救急HCU看護師)が、1月13日～16日の4日間の日程で珠洲市内の病院での支援活動を行いました。他県より集まった支援看護師12名と共に病棟支援を開始し、自らが勤務体制を調整し清潔ケアや転院搬送、緊急入院などを主に対応しました。特にCOVID-19感染症関連の対応は日頃の看護業務においても精神的負担が大きいことから、直接的なケアは全て支援看護師で引き受けることで負担軽減と職員の休息ができるよう注力しました。病棟で勤務する看護師の中には、自宅に帰れず避難所から通勤している職員もおられ、現場の状況を把握しアセスメントすることで、ニーズに応じた活動を主体的に実践することの重要性を痛感しました。

DMAT活動では、1月18日～22日穴水町保健センターの調整本部での活動を行いました。施設や避難所を訪問しケアニーズの把握とアセスメントを行い、施設入所者の熱傷処置と処方、段ボールベッドの設置など居住環境の調整を行いました。避難所で生活している方の話を聞き、物資等の困り事がないかを確認する中で転倒の情報から調整本部と連携を図り、後日災害福祉支援チーム(DWAT)への介入につなげることができました。避難所ではエコノミークラス症候群予防の説明を行うなど、熊本地震の経験を活かした介入を行い、余震など地震の影響が残る中、また、悪路や交通規制に阻まれながらも穴水町から金沢市内の施設間搬送など、無事に支援活動を終了することができました。

今回の経験を活かし、地域災害拠点病院として有事の際も迅速な対応ができる看護師育成と質の高い救急医療の継続に取り組んでいきたいと思っております。

救命救急外来





## ❁ JATEC 熊本コース開催 (Japan Advanced Trauma Evaluation and Care)

2023年7月8日(土)、15日(土)、16日(日)の計3日間に渡り、「JATEC熊本コース」が済生会熊本病院にて開催されました。熊本県での開催は熊本大学病院と3救命救急センター(熊本医療C、熊本赤十字病院、済生会熊本)の4病院が持ち回りで担当。当院では、救急科医師、救急・災害医療対策室と救命救急支援室、ER・EHCU看護師にて企画運営しました。

対面セッションの15日、16日には受講者32名、インストラクター49名の医師が九州内を中心に遠方は北海道から参加され、受講者は緊張感のある中、様々な外傷シチュエーションでの診察手順と診療技能を学ばれました。試験の結果、全受講者が無事に合格し修了証を受け取られました。

受講修了された先生方の今後のご活躍を期待いたします。

※「JATECコース」は、「外傷初期診療ガイドライン」に基づいて標準初期診療手順が実践できるようになることを目標としたトレーニングコースです

救急・災害医療対策室



## ❁ 4R メディカルラリー 2023 開催

2023年11月18日(土)に4年ぶりとなる4Rメディカルラリーを開催しました。熊本市消防局有志と済生会病院の勉強会「4R(Right Patient in the Right Time to the Right place With the Right Treatment)」(※前原センター長命名)が企画運営を行いました。

メディカルラリーは、2017年からスタートし今回で3回目、県内唯一の開催です。競技者チーム編制は医師、看護師、救命士の6人で、北は北海道、南は鹿児島から総勢48名(8チーム)が参加し、日頃の診療経験とスキルを存分に発揮し、設定された6つの模擬現場で救急医療の判断や技術を競い合いました。

県内外の消防機関、医療機関、医療系学生ボランティア、一般ボランティアの協力運営スタッフを含め総勢300名のイベントとなり、当日は小雨もばらつき気温が低くなる厳しいコンディションとなりましたが、ご協力いただいた皆様のおかげで無事終了することが出来ました。

参加された各チーム、運営にご協力いただいた院内スタッフの皆様、お疲れ様でした。

救急・災害医療対策室





## ❁ 済生会熊本病院 DMAT 隊 能登半島地震の災害地へ派遣

2023年1月に起きた「能登半島地震」に当院DMAT隊2隊が被災地および活動拠点本部へ派遣されました。第1陣(医師1名、看護師2名、業務調整員2名、補助員1名)は1/17～1/22の期間、石川県穴水町保健医療福祉調整本部へ入り予定任務が急遽中止となったものの、福祉施設訪問(巡回、再診、支援物資配送)・避難所訪問(巡回、段ボールベッド作成)・DMAT隊宿泊施設設置(日本航空大)・二次避難者の施設間搬送、など被害が大きく道路や建物の損壊、土砂崩れの発生や余震が続く中、医療活動と医療外活動に尽力しました。

第2陣(医師1名、看護師2名)は1/26～1/30の期間、石川県保健医療福祉調整本部搬送班として本部(石川県庁)へ入り、定例の本部会議(07:00～)から始まり、搬送調整班MTG(07:30～)、金沢以南保健医療福祉調整本部MTG(08:30～)、保健医療福祉調整本部MTG(09:00～)、保健医療福祉調整本部会議(13:00～)、保健医療福祉調整本部MTG(18:00～)、航空運用調整webMTG(19:00～)とタイトなスケジュールの中で自衛隊や消防庁をはじめとする他の専門職種チームや災害支援チームと情報共有を行いながら搬送手段の全体像を把握し、またインフラ状況も考慮した上で当日・翌日の円滑な搬送活動が行えるよう本部活動に尽力しました。

このDMAT派遣に対し“被災者と被災地を支え守るため、災害時医療に貢献いただいた”との言葉とともに厚生労働省医政局長より感謝状が贈呈されました。

救急・災害医療対策室



2023

## 救急統計

編集発行	社会福祉法人 <small>恩賜財団</small> 済生会熊本病院
作成日	2024/08/22
編集責任者	中尾 浩一(院長) 前原 潤一(救命救急センター長)
作成部署	救急・災害医療対策室